

注意

本ソフトウェアは、エンジニアリング設定を含めたプログラム調節計 (PF900/PF901) のモニタ・設定が可能です。
PF900/PF901 の仕様部分まで変更が可能となっておりますが、仕様の変更につきましては、お客様の自己責任で行ってください。
仕様変更に伴う装置や製品の損害が発生した場合は、一切の責任を負いません。

ご使用前に

- 本書は、読者が電気関係・制御関係・コンピュータ関係および通信関係などの基礎知識を持っていることを前提としています。
- 本書で使用している図や数値例・画面例は、本書を理解しやすいように記載したものであり、その結果の動作を保証するものではありません。
- 本ソフトウェアおよび本書の所有権および著作権は当社に帰属します。
- 当社は以下に示す損害をユーザーや第三者が被っても、一切の責任を負いません。
 - －本製品を使用した結果の影響による損害
 - －当社において予測不可能な本製品の欠陥による損害
 - －本製品の模倣品を使用した結果による損害
 - －その他、すべての間接的損害
- 本ソフトウェアの仕様および本書の記載内容は、お断りなく変更することがあります。
- 本ソフトウェアの仕様と本書の表記に相違がある場合は、本ソフトウェアの仕様が優先されます。
- 当社提供の1つのソフトウェアに対して、1台のコンピュータでのみ使用してください。また、バックアップ以外でのソフトウェアの複製およびソフトウェアの改造を禁じます。
- 本書は本ソフトウェアの操作についてのみ説明しています。PF900/PF901 の取扱手順やパラメータの説明については、**PF900/PF901 取扱説明書 (IMR02L03-J□)** または **PF900/PF901 ユーザーズマニュアル (IMR02L04-J□)** を参照してください。

本書の表記について



： 操作や取扱上の重要事項についてこのマークを使用しています。



： 操作や取扱上の補足説明にこのマークを使用しています。



： 詳細・関連情報の参照先にこのマークを使用しています。

目次

1. 概要	3
■ ソフトウェア動作環境	3
■ 対象機種	3
■ 対応言語	3
■ 機能	3
■ 注意・制限事項	3
2. 接続	4
2.1 ローダ通信の接続	4
■ 接続方法	5
● 計器前面のローダ通信ポート使用時	5
● 計器底面のローダ通信ポート使用時	5
2.2 ホスト通信の接続	6
■ 通信端子番号と信号内容	6
3. 設定ツールのインストール	7
■ 設定ツールのインストール	7
■ 設定ツールのアンインストール	9
4. 設定ツールの起動	10
■ 設定ツールの起動	10
● モードの選択	10
■ ダイレクトモードを選択した場合	11
● 通信パラメータの設定	11
● 通信ポートの確認方法	11
■ ファイルモードを選択した場合	13
5. 各部の名称とメニュー構成	14
5.1 各部の名称	14
5.2 パターン表示	15
■ 「モニタ」画面、「運転操作」画面のパターン表示	15
■ 「パターン設定1」画面、「パターン設定2」画面のパターン表示	16
5.3 メニュー構成	17
6. データのモニタと設定 (使用例)	19
■ ダイレクトモードでデータをモニタする	19
■ ダイレクトモードでデータを設定する	23
7. 設定データの保存と一括設定 (使用例)	25
7.1 PF900/PF901 の設定データをパソコンに保存する	28
7.2 設定値ファイル (CSV ファイル) の設定データを PF900/FP901 に一括して書き込む	30
7.3 PF900/PF901 の設定データを他の PF900/PF901 にコピーする	34
7.4 設定値ファイル (CSV ファイル) と PF900/PF901 の設定データが一致するかを調べる	39
8. トレンドグラフの表示 (使用例)	41
9. バージョン情報の表示	44
10. 設定ツールの終了	44

1. 概要

■ ソフトウェア動作環境

本ソフトウェアを使用する場合は、以下に示すハードウェアおよびソフトウェアの仕様を満たしている必要があります。

- Windows XP、Windows Vista または Windows 7 が快適に動作するプロセッサを搭載したパソコン
- OS: Windows XP (SP2 以降)、Windows Vista (SP1 以降)、Windows 7 に対応
- 画面解像度: 横 1024×縦 768 ピクセル (XGA) 以上の解像度
- フォントサイズ (DPI 設定):
「通常のサイズ (96 DPI)」(Windows XP、Windows Vista、Windows 7) に対応
- シリアル通信ポートまたは USB2.0 ポート

■ 対象機種

PF900/PF901

■ 対応言語

日本語、英語

■ 機能

- エンジニアリング設定を含めた設定データのモニタ・設定が可能です。
- PF900/PF901 の設定データをパソコンにファイルとして保存でき、またファイルの設定データを PF900/PF901 に一括設定できます。
- パソコンに保存したファイルの設定データと、PF900/PF901 の設定データ照合することができます。
- プログラムパターンのグラフが表示できます。
- トレンドグラフが表示できます。また、トレンドデータはデータ記録ファイル (CSV ファイル) として、パソコンに保存できます。
- ローダ通信とホスト通信 (RKC 通信のみ) で使用できます。

■ 注意・制限事項

- 一括設定では問題なく設定された場合でも、エラーが表示されることがあります。エラーが表示されたときには、該当する設定データが動作に影響しないことを確認してください。
- 設定ツール (WinUCI-PF900) のダイレクトモードで設定を行っている間は、PF900/PF901 本体の前面パネルや、別の通信などで、PF900/PF901 の設定データを変更しないでください。設定ツールと PF900/PF901 の設定データが一致しくなくなります。

2. 接 続



警告

感電防止および機器故障防止のため、本機器や周辺装置の電源を OFF にしてから、接続および切り離しを行ってください。

2.1 ローダ通信の接続

PF900/PF901 でローダ通信をするためには、以下の準備が必要です。

PF900/PF901、当社製 USB 通信変換器 COM-K およびパソコンを、ローダ通信ケーブルおよび USB ケーブルで接続します。

- パソコン (USB ポート付: USB Ver.2.0 準拠)
- USB 通信変換器 (当社製)

COM-K-□

- └ 3: ローダ通信ケーブル (W-BV-03) 付 (計器前面のローダ通信ポート使用時) または
1: ローダ通信ケーブル (W-BV-01) 付 (計器底面のローダ通信ポート使用時)

- ローダ通信ケーブル

W-BV-03: 計器前面のローダ通信ポート用 (ケーブル長: 標準 1.5 m、COM-K-3 に付属) または
W-BV-01: 計器底面のローダ通信ポート用 (ケーブル長: 標準 1.5 m、COM-K-1 に付属)

- USB ケーブル (ケーブル長: 標準 1 m、COM-K-□に付属)
- COM-K 用 USB ドライバ *

* COM-K 用 USB ドライバについて

COM-K を使用するためには、接続を行う前に COM-K 用 USB ドライバのインストールが必要です。

COM-K 用 USB ドライバは、PF900/PF901 CD-R (COM-K フォルダ) に保存されていますので、解凍してから使用してください。

COM-K

- └ usb_driver.EXE ←ソフトウェア本体 (自己解凍式圧縮ファイル)¹
- └ usb_driver.zip ←ソフトウェア本体 (ZIP 形式圧縮ファイル)²
- └ Instruction Manual
 - └ Japanese version
 - └ com_k_inst_j□.pdf ← USB ドライバインストール手順 (PDF 形式ファイル)

¹ usb_driver.EXE は、実行すると圧縮ファイルが解凍されます。

² usb_driver.zip は適切な解凍ツールを使って解凍します。解凍ツールはお客様で用意してください。

また、COM-K 用 USB ドライバは当社のホームページからダウンロードできます。

理化学工業株式会社ホームページ <http://www.rkcinst.co.jp>

COM-K の詳細については、**COM-K 取扱説明書 (IMR01Z01-J□)** を参照してください。



ローダ通信は、セットアップ専用です。運転中のデータロギング等には使用しないでください。



ローダ通信は、通信機能 (オプション) が搭載されていない PF900/PF901 でも使用できます。



従来品の USB 通信変換器 COM-K (COM-K-N または COM-K-1) で計器前面のローダ通信ポートを使用する場合は、ローダ通信ケーブル W-BV-03 (オプション) が別途必要になります。

■ 接続方法

PF900/PF901、COM-K およびパソコンを、USB ケーブルおよびローダ通信ケーブルで接続します。
コネクタの向きに注意して接続してください。

 計器前面と計器底面のローダ通信ポートは、どちらかを使用してください。(同時使用不可)

● パソコンの通信ポート

USB ポート: USB Ver.2.0 準拠

● パソコン側の通信設定 (以下の値はすべて固定になります)

通信速度: 38400 bps

スタートビット: 1

データビット: 8

パリティビット: なし

ストップビット: 1

● ローダ通信時のデバイスアドレスは「0」固定です。PF900/PF901 のデバイスアドレス設定は無視されます。

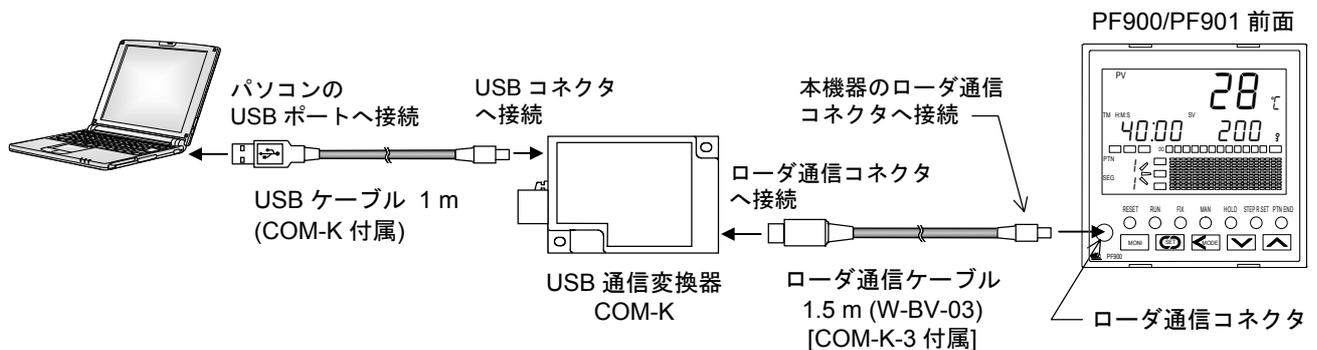
● 通信プロトコル

RKC 通信プロトコル (ANSI X3.28-1976 サブカテゴリ 2.5 A4 準拠)

● 計器前面のローダ通信ポート使用時

USB 通信変換器 COM-K とローダ通信ケーブル W-BV-03 を使用して接続します。

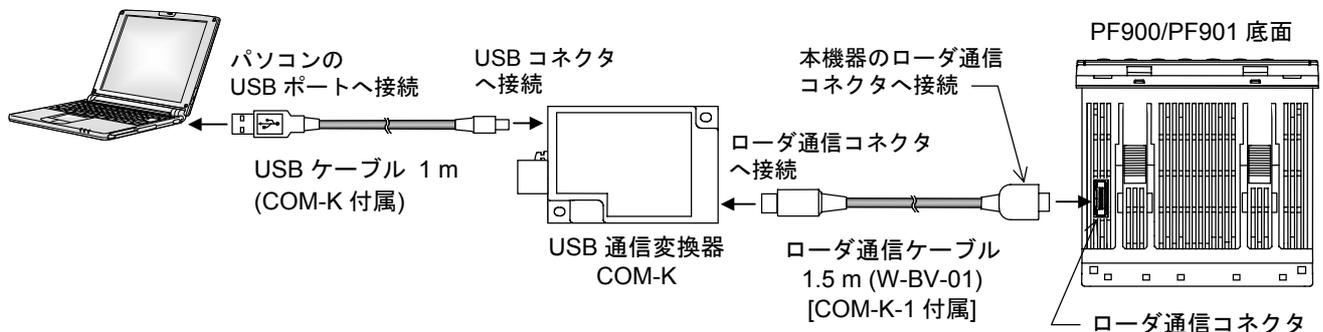
 計器前面のローダ通信ポート使用時は、必ず PF900/PF901 の電源を ON にして使用してください。



● 計器底面のローダ通信ポート使用時

USB 通信変換器 COM-K とローダ通信ケーブル W-BV-01 を使用して接続します。

 計器底面のローダ通信ポート使用時は、PF900/PF901 の電源が OFF 状態でも使用できます。
ただし、測定値 (PV) やパターンをモニターを行う場合は、PF900/PF901 の電源を ON にして使用してください。



2.2 ホスト通信の接続

PF900/PF901 は、RKC 通信 (ANSI X3.28-1976 サブカテゴリ 2.5、A4 準拠) または MODBUS * によって、ホストコンピュータとデータの送受信が行えます。

ホスト通信機能は、注文時に通信機能 [型式コード: 1、4、5、W、X] を指定した場合に使用できます。

* 本ソフトウェア (WinUCI-PF900) は、RKC 通信のみ対応します。

MODBUS のデータ送受信状態は、通信サポートソフトウェア「WMsci」を使用することで確認できます。

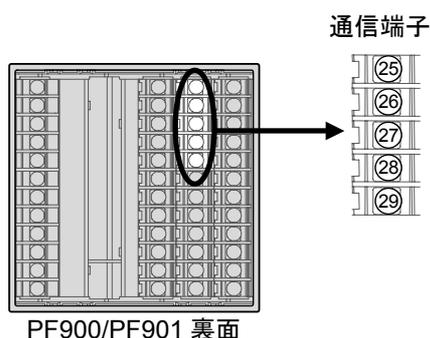
「WMsci」は当社のホームページからダウンロードできます。

理化工業株式会社ホームページ <http://www.rkcinst.co.jp>

 ホスト通信のプロトコルや仕様については **PF900/PF901 取扱説明書 (IMR02L03-J□)** を参照してください。

ケーブルはお客様で用意してください。

■ 通信端子番号と信号内容



端子番号	信号名	記号
25	信号用接地	SG (GND)
26	送信データ	SD (TXD)
27	受信データ	RD (RXD)
28	不使用	—
29	不使用	—

端子番号	信号名	記号
25	信号用接地	SG
26	送受信データ	T/R (A)
27	送受信データ	T/R (B)
28	不使用	—
29	不使用	—

端子番号	信号名	記号
25	信号用接地	SG
26	送信データ	T (A)
27	送信データ	T (B)
28	受信データ	R (A)
29	受信データ	R (B)

 PF900/PF901 とホストコンピュータとの接続例については、**PF900/PF901 取扱説明書 (IMR02L03-J□)** を参照してください。

3. 設定ツールのインストール

■ 設定ツールのインストール

注意

- Administrator (管理者) 権限のあるユーザーアカウント (利用資格者) でログインしてください。
- 起動中のアプリケーションは全て終了してください。
- パソコン内に古いバージョンの設定ツールがインストールされている場合は、古いバージョンの設定ツールをアンインストールしてから、新しいバージョンの設定ツールをインストールしてください。



説明に使用している図は、Windows XP パソコンのものです。他の OS の場合は、画面や名称が異なる場合があります。

1. SetupWinUciPF900J_xxxx.msi ファイルを、パソコンのハードディスクに保存します。

(xxxx はバージョン番号です)

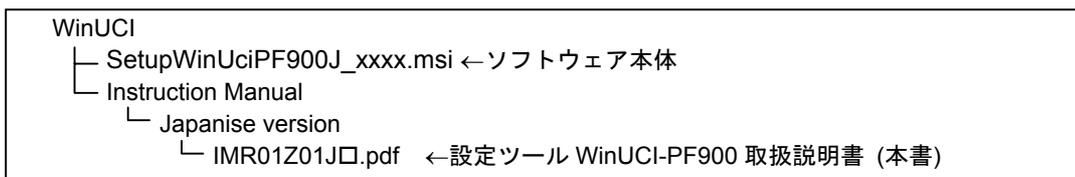
ファイルの保存には、PF900/PF901 に同梱されている PF900/PF901 CD-R からコピーする方法と、当社ホームページからダウンロードする方法があります。

- PF900/PF901 CD-R からコピーする場合

a) PF900/PF901 CD-R の「WinUCI」フォルダを開きます。

b) SetupWinUciPF900J_xxxx.msi ファイルを、パソコンのハードディスクの任意フォルダにコピーします。

設定ツール WinUCI-PF900 は、PF900/PF901 CD-R の「WinUCI」フォルダに保存されています。



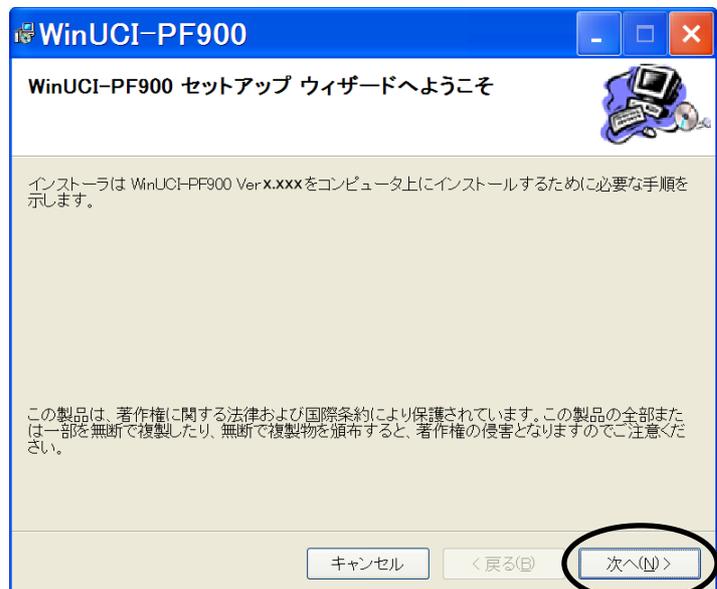
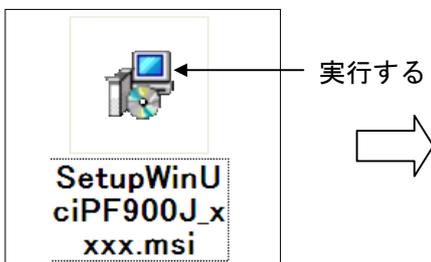
- 当社ホームページからダウンロードする場合

当社のホームページから、SetupWinUciPF900J_xxxx.msi ファイルをダウンロードして、パソコンのハードディスクの任意フォルダに保存します。

理化学工業株式会社ホームページ <http://www.rkcinst.co.jp>

2. SetupWinUciPF900J_xxxx.msi を実行すると、「セットアップウィザード」画面が表示されます。

[次へ (N)] ボタンをクリックして次の画面を表示させます。



警告画面が表示された場合

Windows XP SP2 以上:

セキュリティの警告画面が表示された場合は、[実行] ボタンをクリックしてください。

Windows Vista、Windows 7:

ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[続行] または [はい] ボタンをクリックしてください。

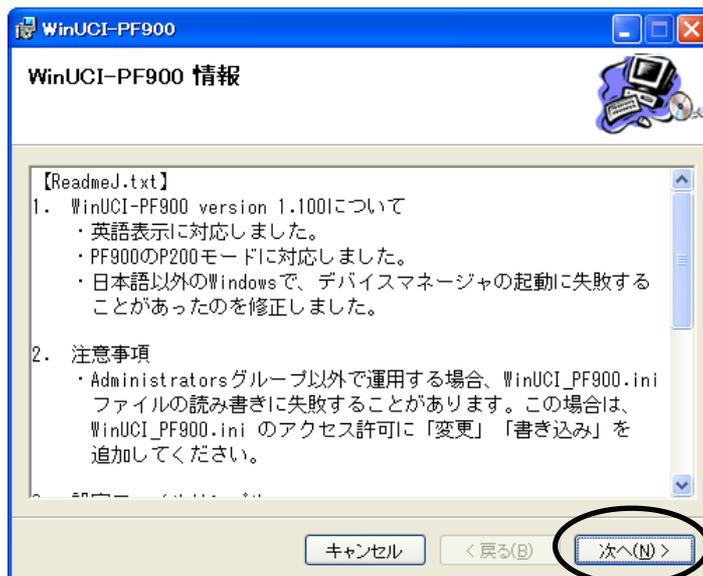
3. インストール先のフォルダを指定します。[次へ (N)] ボタンをクリックして次の画面を表示させます。



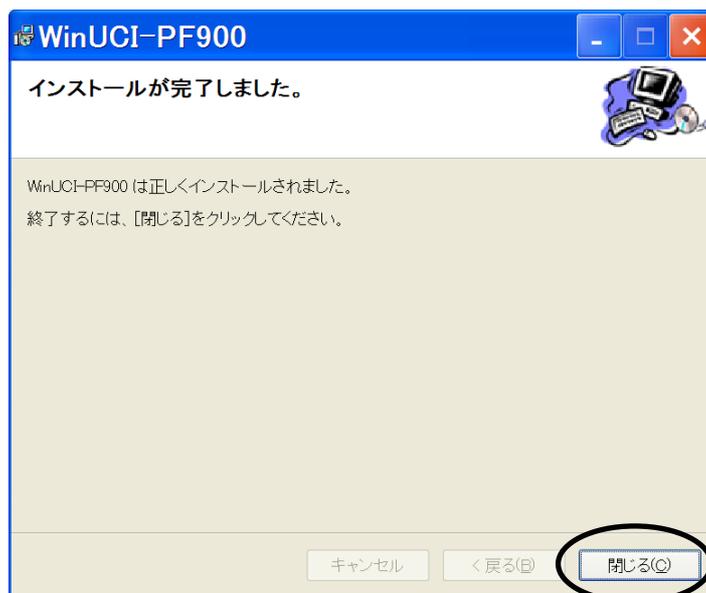
4. [次へ (N)] ボタンをクリックすると、インストールを開始します。



5. インストールが完了すると、「WinUCI-PF900 情報 (ReadmeJ.txt)」画面が表示されます。
WinUCI-PF900 情報を読み終えたら、[次へ (N)] ボタンをクリックします。



6. 「インストールが完了しました。」画面が表示されます。
[閉じる (C)] ボタンをクリックして、インストールを終了します。



以上でインストール終了です。

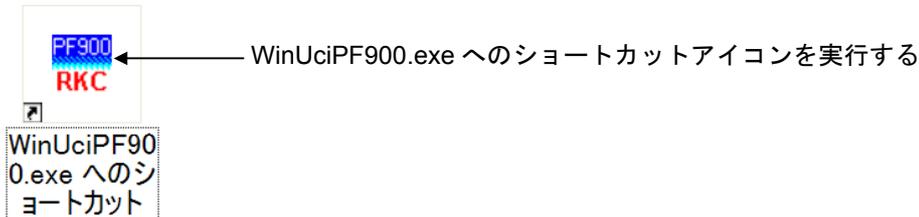
■ 設定ツールのアンインストール

設定ツールをアンインストールする場合は、Windows の「プログラムの追加と削除」から、**WinUCI-PF900** を削除してください。

4. 設定ツールの起動

■ 設定ツールの起動

1. デスクトップまたはスタートメニューの「WinUciPF900.exe」ショートカットアイコンを実行します。設定ツールが起動すると、最初に「モード選択」画面が表示されます。



2. モードを選択します。(選択するモードのボタンをクリックします。)

● モードの選択



ダイレクトモード: 通信で接続して、PF900/PF901 のデータをモニタしたり、変更したりする場合に選択します。PF900/PF901 をパソコンに接続してから、[ダイレクトモード] ボタンをクリックしてください。

 ■ **ダイレクトモードを選択した場合 (P. 11) 参照**

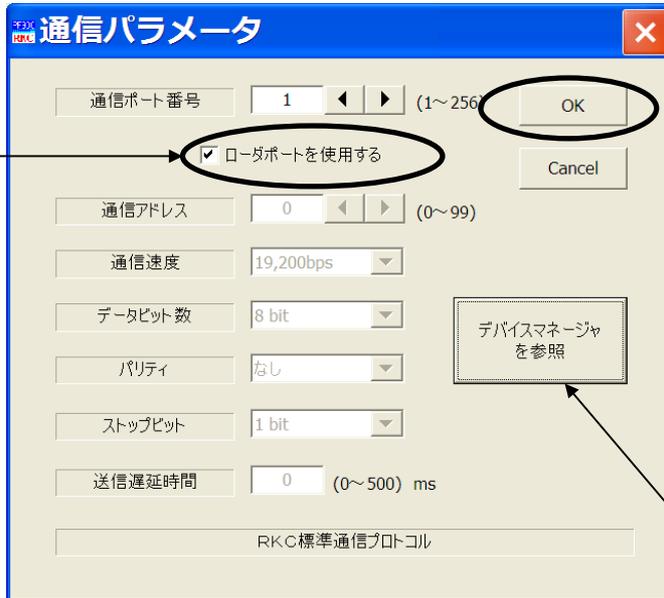
ファイルモード: パソコンに保存されている PF900/PF901 の設定値ファイル (CSV ファイル) を開く場合に選択します。設定値ファイル (CSV ファイル) の確認や一括設定 (リカバリーやコピー用) など保守作業を行うモードです。

 ■ **ファイルモードを選択した場合 (P. 13) 参照**

■ ダイレクトモードを選択した場合

1. 「通信パラメータ指定」画面が表示されます。通信パラメータを PF900/PF901 と同じ値に設定してから、[OK] ボタンをクリックします。

● 通信パラメータの設定



通信ポート番号: COM1～COM256

● 通信ポートの確認方法 (P. 11)

通信アドレス (デバイスアドレス):
0～99 (最大接続台数: 31 台)

通信速度:
2400 bps
4800 bps
9600 bps
19200 bps
38400 bps
57600 bps

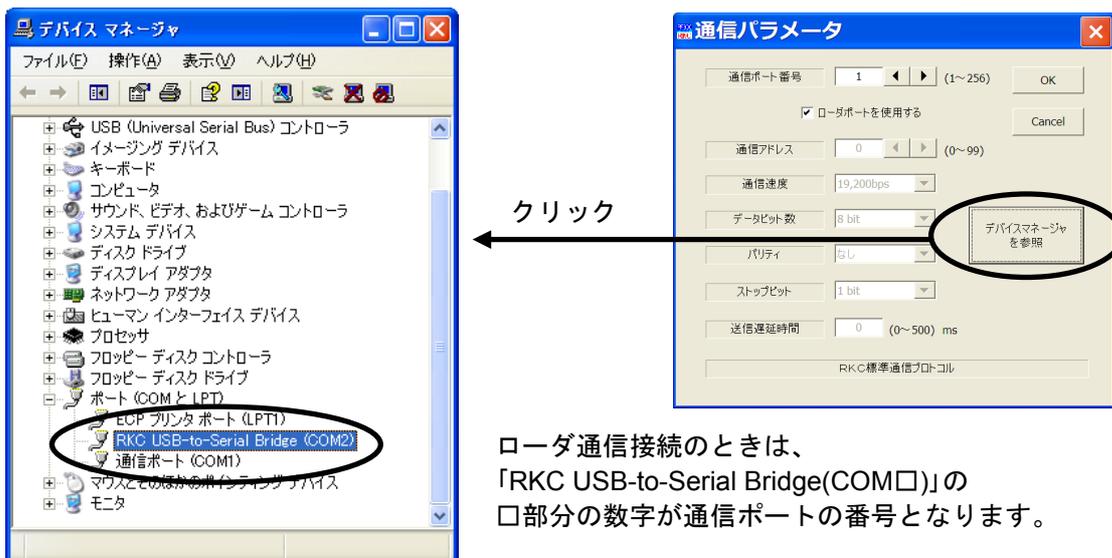
データビット数: 7-bit または 8-bit
パリティビット: なし、奇数、偶数
ストップビット: 1-bit、1.5-bit、2-bit
送信遅延時間: 0～500 ms

Windows の「デバイスマネージャ」を開いて、通信ポートが確認できます。

ローダ通信の場合は [ローダポート通信を使用する] をチェックします。
ローダ通信の場合は、PF900/PF901 の通信速度およびデータビット構成が、
固定値で決まっていますので、設定ができなくなります。

● 通信ポートの確認方法

PF900/PF901 と通信するために、通信ポートを指定する必要があります。
使用するパソコンによって異なりますので、以下のように確認してください。
[デバイスマネージャを参照] ボタンをクリックして、「デバイスマネージャ」を開きます。
「ポート (COM と LPT)」の + をクリックして下図のように表示させます。



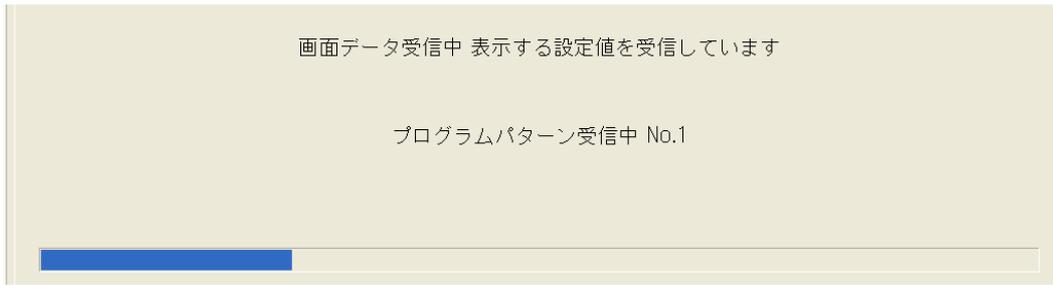
ローダ通信接続のときは、
「RKC USB-to-Serial Bridge (COM□)」の
□部分の数字が通信ポートの番号となります。



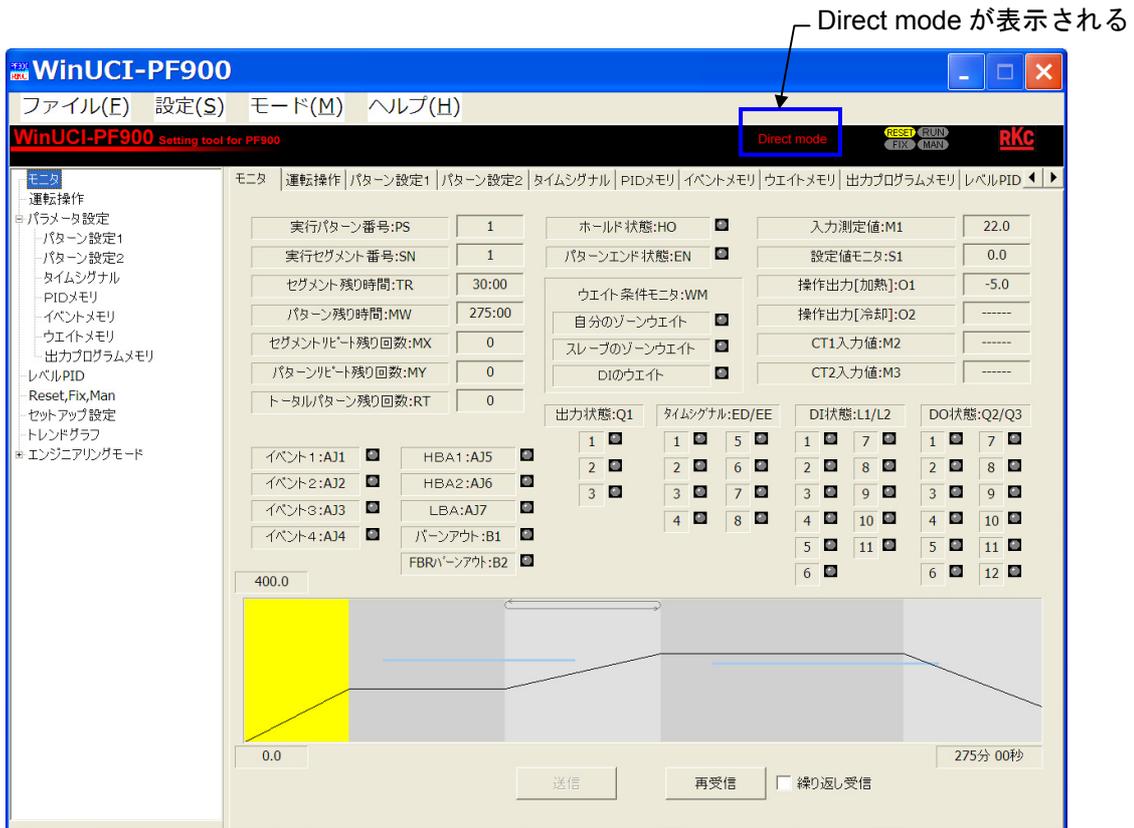
マイコンピュータで通信ポートの確認を行う場合

マイコンピュータを右クリックして「プロパティ」→「デバイスマネージャ」を開きます。
「ポート (COM と LPT)」の + をクリックして上図のように表示させます。

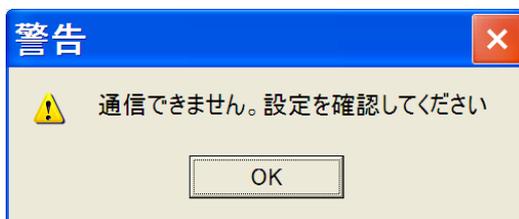
2. 「画面データ受信中」のメッセージが表示されます。



3. データの受信が正常に完了すると「モニタ」画面が表示されます。PF900/PF901 のデータが、設定ツールの画面に表示されます。また、「Direct mode」が表示されます。



通信ができない場合は、警告メッセージが表示されますので、正しい通信パラメータを設定してから、[OK] ボタンをクリックします。



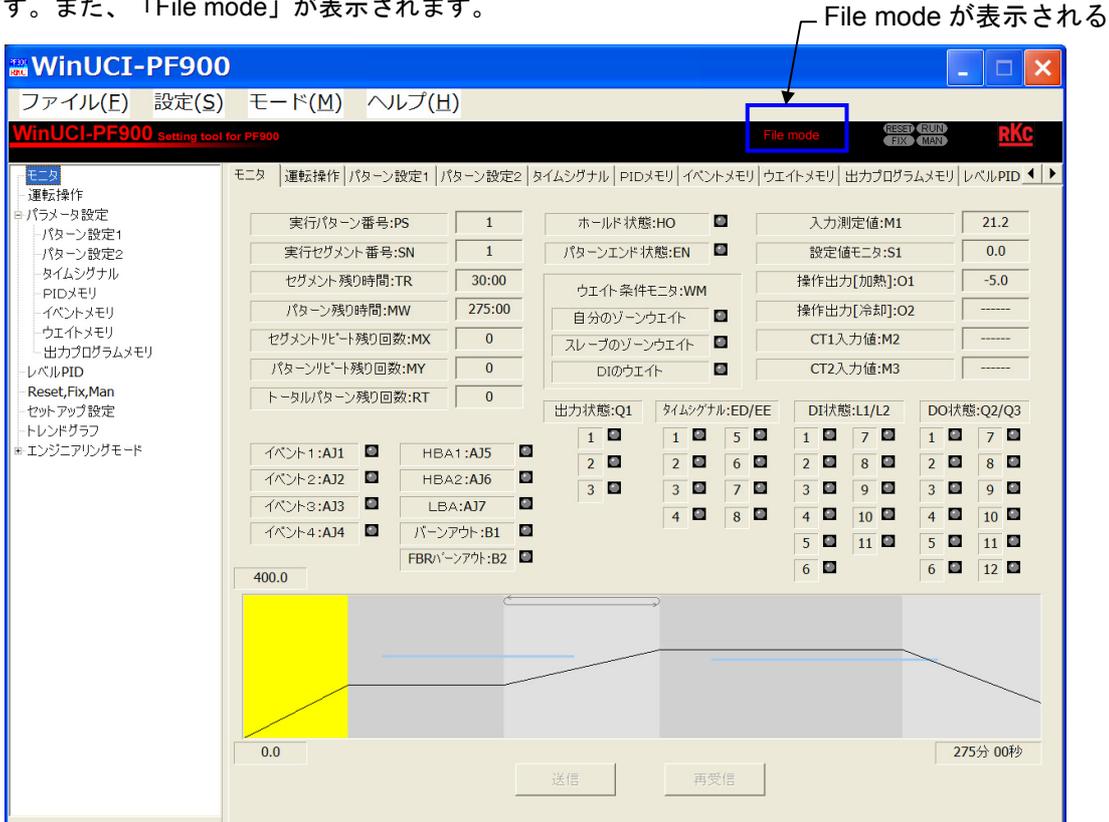
ダイレクトモードのモニタや設定については、6. データのモニタと設定 (使用例) (P. 19) を参照してください。

■ ファイルモードを選択した場合

1. 「ファイルを開く」画面が表示されます。ファイルを指定して [開く (O)] ボタンをクリックします。



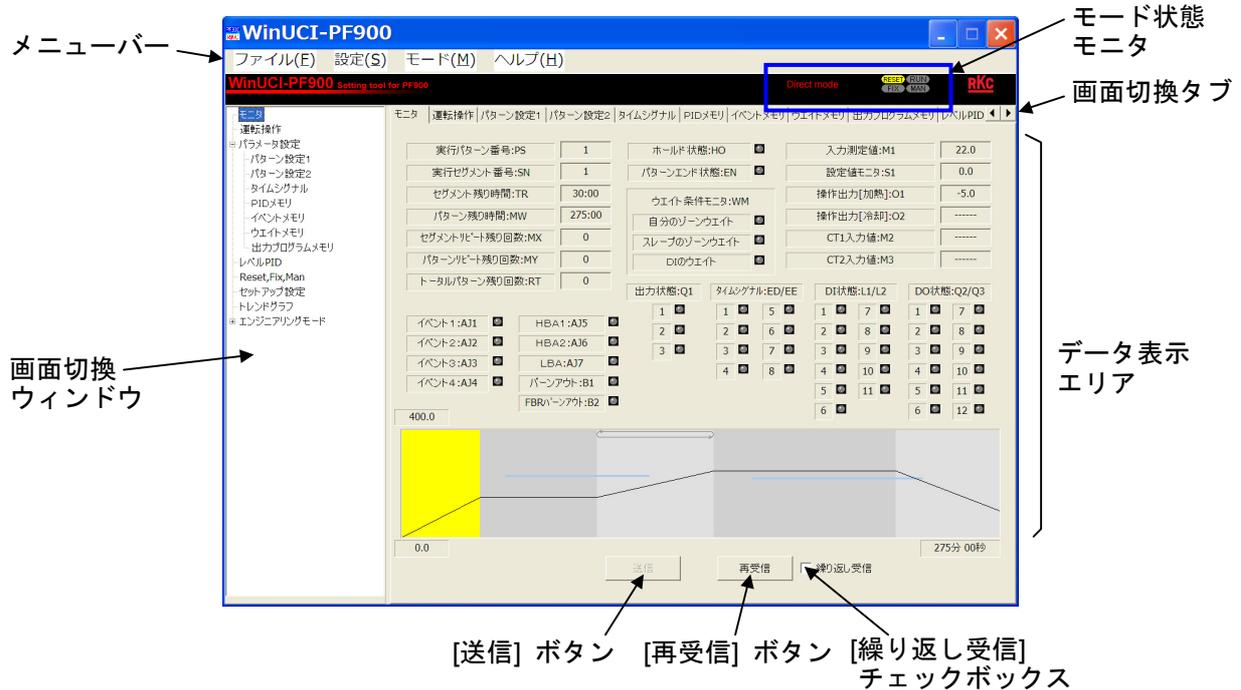
2. 「モニタ」画面が表示されます。設定値ファイル (CSV ファイル) の設定データが設定ツール画面に表示されます。また、「File mode」が表示されます。



ファイルモードでデータを変更しないでください。ファイルモードで、各パラメータの値を変更しても、変更した内容を設定値ファイル (CSV ファイル) として保存できません。また、ファイルモードで、各パラメータの値を変更してから、一括設定を行うと、エラーチェックをしないで、PF900/PF901 にデータを書き込むため、誤動作の原因になります。ファイルモードの一括設定は、パソコンに保存されている設定値ファイル (CSV ファイル) を、データの変更を行わず、そのまま PF900/PF901 に一括して書き込む場合 (設定データのリカバリーやコピーなど) に使用します。

5. 各部の名称とメニュー構成

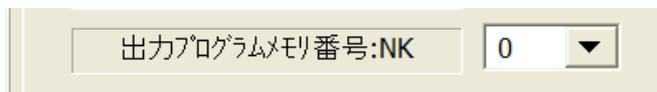
5.1 各部の名称



- メニューバー: 設定ツールの個々の機能を開始するときに使用します。
🗨 内容については、5.3 メニュー構成 (P. 17) を参照してください。
- 画面切換ウィンドウ: 画面を切り換えるウィンドウです。ツリー表示の画面名称をクリックすると、画面が切り換わります。
- 画面切換タブ: タブをクリックすると画面が切り換わります。
- データ表示エリア: データが表示されます。
- [送信] ボタン: 設定ツールで設定したデータを PF900/PF901 に書き込みます。
 ダイレクトモードの場合に表示されます。(モニタ画面は表示されません。)
- [再受信] ボタン: PF900/PF901 のモニタデータや設定データを設定ツールに読み出します。
 ダイレクトモードの場合に表示されます。
📖 設定ツールを起動した時やデータの送信をした時に、PF900/PF901 からデータが読み出されます。画面をそのままにしておくと、データが読み出されず画面が更新されません。
 最新のモニタデータや設定データを表示させたい場合は、[再受信] ボタンをクリックして、データを読み出してください。
- [繰り返し受信] チェックボックス: PF900/PF901 のモニタデータを、定期的 (数秒ごと) に自動で設定ツールに読み出します。
 定期的に読み出しを行う場合は、[繰り返し受信] チェックボックスをチェックします。
 ダイレクトモードの「モニタ」画面と「運転操作」画面の場合に表示されます。
- モード状態モニタ: モードの状態を表示します。
 File mode: ファイルモードのときに表示されます。
 Direct mode: ダイレクトモードのときに表示されます。
 RESET: リセットモード (RESET) のときに点灯します。
 RUN: プログラム制御モード (RUN) のときに点灯します。
 FIX: 定値制御モード (FIX) のときに点灯します。
 MAN: マニュアル制御モード (MAN) のときに点灯します。

5.2 パターン表示

パターン表示には、プログラムパターン表示と出力プログラムパターン表示があります。
 プログラムパターン表示または出力プログラムパターン表示の選択は、「パターン設定 1」画面の「出力プログラムメモリ番号: NK」で設定します。



出力プログラムメモリ番号: NK
 0: プログラムパターン表示
 (割付なし)
 1~[128÷セグメント最大数]
 (ただし、最大 99 まで):
 出力プログラムパターン表示

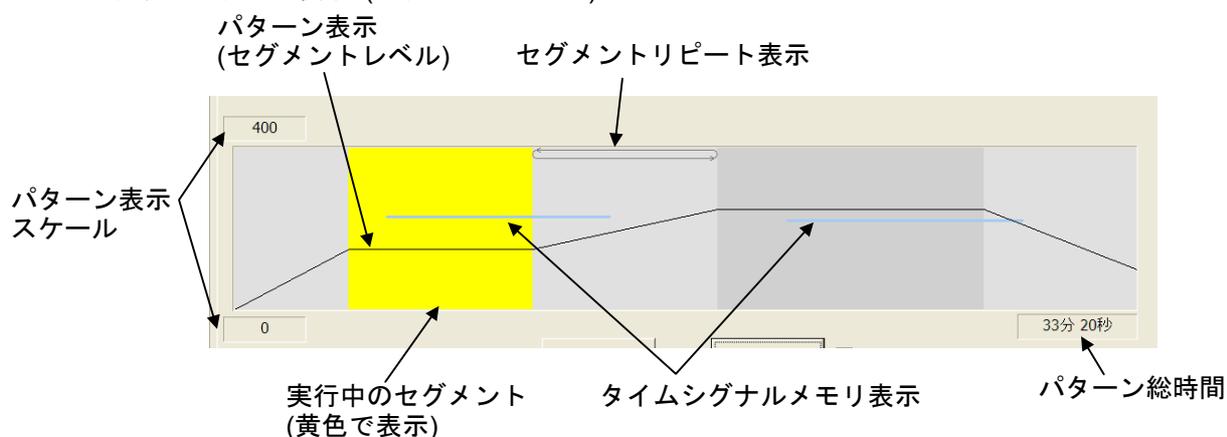
■ 「モニタ」画面、「運転操作」画面のパターン表示

プログラム制御モード (RUN): プログラムパターンの進行状況が表示されます。

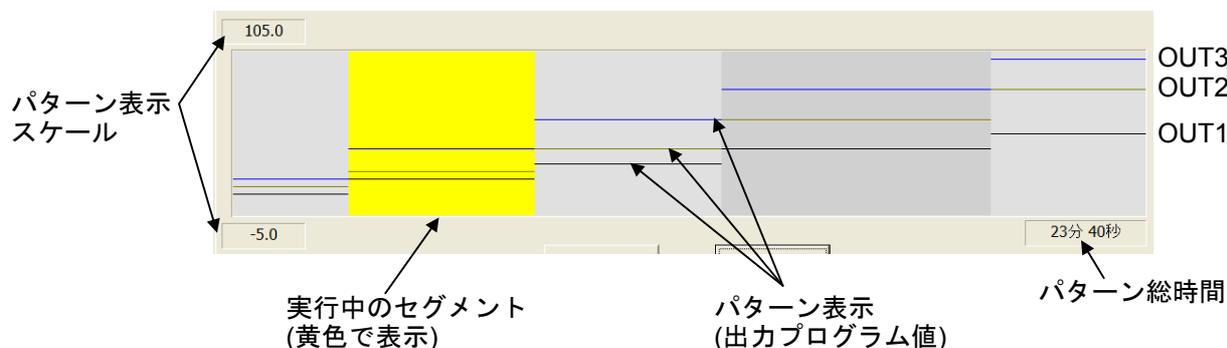
実行中のセグメントが黄色で表示されます。

リセットモード (RESET): 実行中のパターンがリセットされ、一番左のセグメントが黄色で表示されます。

● プログラムパターン表示 (セグメントレベル)



● 出力プログラムパターン表示 (出力プログラム値)

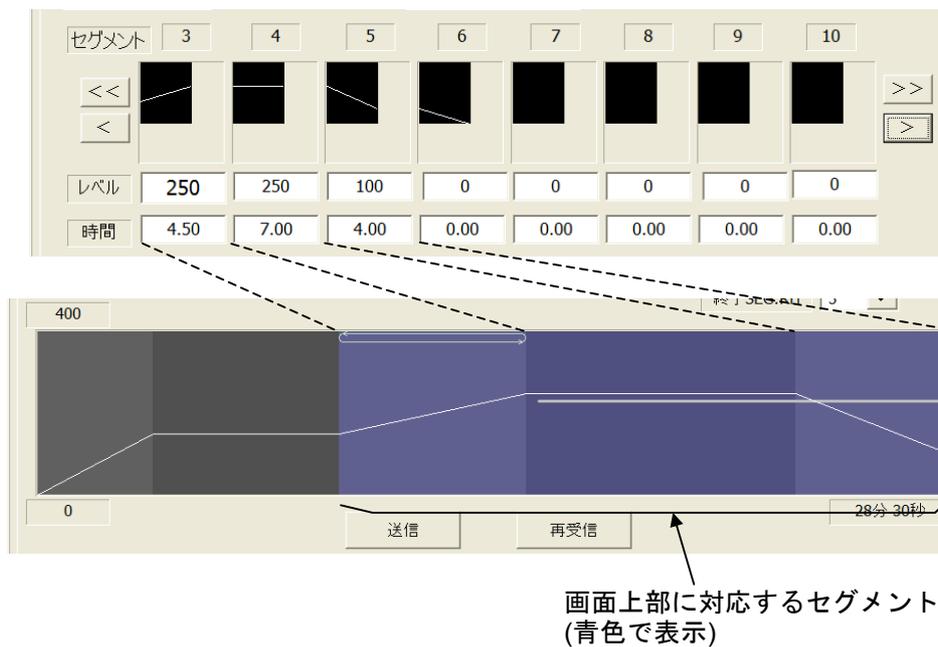


- パターン表示スケール: パターン表示のスケールが表示されます。
 プログラムパターンの場合: 設定リミッタ下限 (SL) ~ 設定リミッタ上限 (SH)
 出力プログラムパターンの場合: -5.0~+105.0 %
- パターン表示: 設定されているパターンが表示されます。
 プログラムパターンの場合: セグメントレベル
 出力プログラムパターンの場合: 出力プログラム値
- セグメントリピート表示: リpeatするセグメント番号に表示されます。
- タイムシグナルメモリ表示: タイムシグナルメモリが表示されます。
 上から下に向かって TS1→TS8 です。
- パターン総時間: パターンの総時間が表示されます。

■ 「パターン設定 1」画面、「パターン設定 2」画面のパターン表示

設定されているパターンが表示されます。セグメントリピートやタイムシグナルメモリなどが、「モニタ」画面、「運転操作」画面のパターン表示と同様に表示されます。

また、画面上部の入力用セグメントに対応する部分が、青色で表示されます。



 パターンを表示させるためには、パターンを作成する必要があります。パターンの作成方法については、**PF900/PF901 取扱説明書 (IMR02L03-J□)** を参照してください。

5.3 メニュー構成

メニューバーの各メニューから展開されるコマンドについて説明します。

● ファイルメニュー

ダイレクトモード

ファイル(F) 設定(S) モード(M) ヘルプ(H)
設定値ファイル作成(調節計→ファイル)(Y)...
ファイル読み込み(ファイル→PC)(P)...
一括設定(PC→調節計)(C)...
設定値照合(調節計⇔PC)(Z)
終了(X)

ファイルモード

ファイル(F) 設定(S) モード(M) ヘルプ(H)
設定値ファイル作成(調節計→ファイル)(Y)...
ファイル読み込み(ファイル→PC)(P)...
一括設定(PC→調節計)(C)...
設定値照合(調節計⇔PC)(Z)
終了(X)

設定値ファイル作成(調節計→ファイル) [ダイレクトモード]:

通信している PF900/PF901 の設定データを読み出して、設定値ファイル (CSV ファイル) に保存します。

【👉】 7.1 PF900/PF901 の設定データをパソコンに保存する (P. 28) を参照

ファイル読み込み(ファイル→PC) [ダイレクトモード、ファイルモード]:

設定値ファイル (CSV ファイル) を設定ツールに読み込んで、ファイルモードに切り換わります。

【👉】 7.2 設定値ファイル (CSV ファイル) の設定データを PF900/FP901 に一括して書き込む (P. 30) を参照

一括設定(PC→調節計) [ファイルモード]:

設定ツールの設定データを、PF900/FP901 に一括して書き込みます。

【👉】 7.2 設定値ファイル (CSV ファイル) の設定データを PF900/FP901 に一括して書き込む (P. 30) を参照

設定値照合(調節計⇔PC) [ファイルモード]:

設定値ファイル (CSV ファイル) の設定データと、PF900/PF901 の設定データが一致するかを調べます。

【👉】 7.4 設定値ファイル (CSV ファイル) と PF900/PF901 の設定データが一致するかを調べる (P. 39) を参照

終了:

設定ツールを終了します。

● 設定メニュー

設定(S) モード(M) ヘルプ
通信設定(X)...
トレンドグラフ設定(Y)...
言語(Z)...

通信設定:

通信パラメータを設定します。

マルチドロップ接続の場合、通信アドレスを変更することで、通信する PF900/PF901 を切り換えられます。

【👉】 ● 通信パラメータの設定 (P. 11) を参照

トレンドグラフ設定: トレンドグラフの表示に必要なパラメータを設定します。

【👉】 8. トレンドグラフの表示 (P. 41) を参照

言語:

言語 (日本語/英語) を設定します。

- モードメニュー

モード(M)	ヘルプ(H)
ダイレクトモード(Y)	
ファイルモード(Z)	
トレンドグラフON(O)	
トレンドグラフOFF(E)	

ダイレクトモード／ファイルモード:

モードを選択します。

 ● **モードの選択 (P. 10)** を参照

トレンドグラフ ON／トレンドグラフ OFF:

トレンドグラフの ON/OFF を選択します。

 **8. トレンドグラフの表示 (P. 41)** を参照

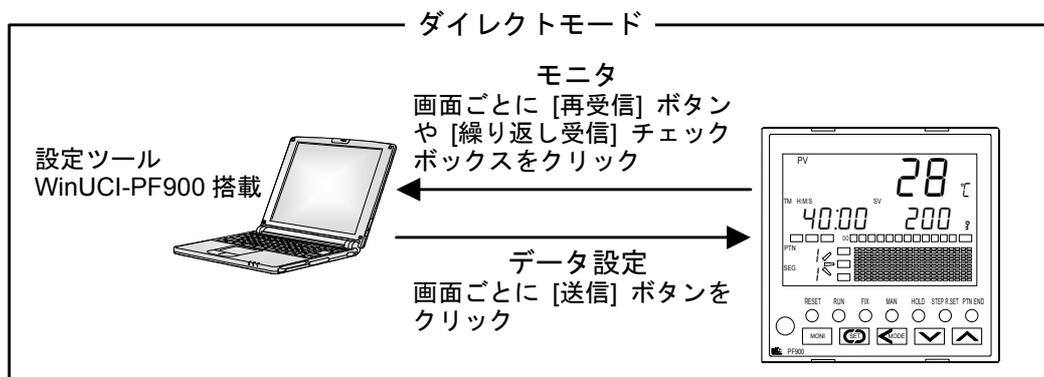
- ヘルプメニュー

ヘルプ(H)	
バージョン情報(Z)	

バージョン情報: 設定ツールのバージョン情報が表示されます。

6. データのモニタと設定 (使用例)

PF900/PF901 のモニタやデータ設定はダイレクトモードで行います。ダイレクトモードでは、パソコンとPF900/PF901 を通信で接続した状態で、パソコンから PF900/PF901 を操作できます。



■ ダイレクトモードでデータをモニタする

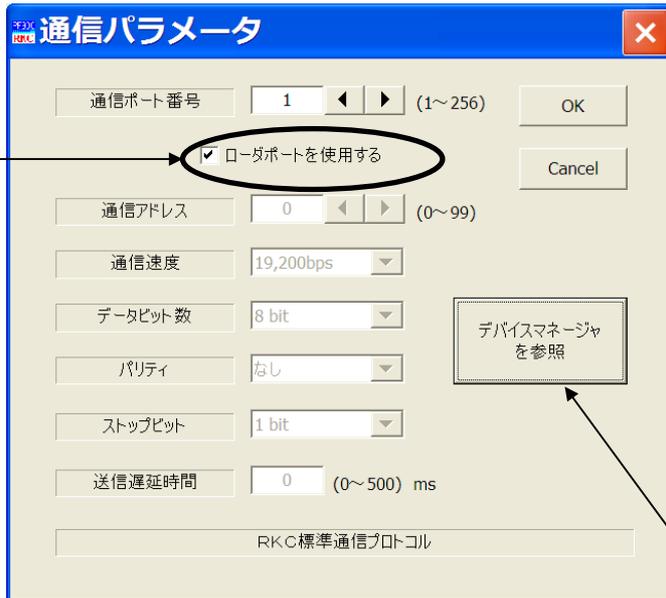
ダイレクトモードでは、通信している PF900/PF901 のデータをモニタすることができます。

例) PF900/PF901 の運転状態をモニタする場合

1. PF900/PF901 とパソコンを接続します。
2. 設定ツールを起動して、[ダイレクトモード] ボタンをクリックします。



3. 「通信パラメータ指定」画面が表示されます。通信パラメータを PF900/PF901 と同じ値に設定してから、[OK] ボタンをクリックします。



通信ポート番号: COM1~COM256

● 通信ポートの確認方法 (P. 11)

通信アドレス (デバイスアドレス):

0~99 (最大接続台数: 31 台)

通信速度:

2400 bps

4800 bps

9600 bps

19200 bps

38400 bps

57600 bps

データビット数: 7-bit または 8-bit

パリティビット: なし、奇数、偶数

ストップビット: 1-bit、1.5-bit、2-bit

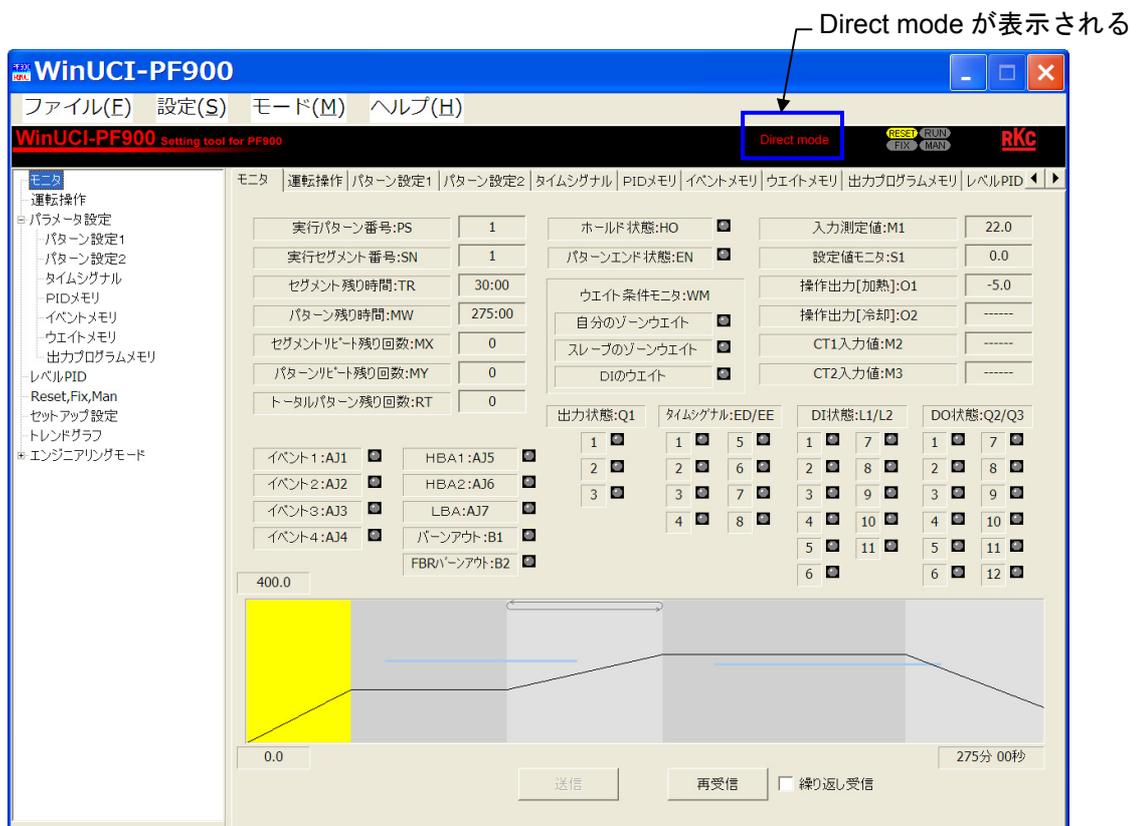
送信遅延時間: 0~500 ms

Windows の「デバイスマネージャ」を開いて、通信ポートが確認できます。

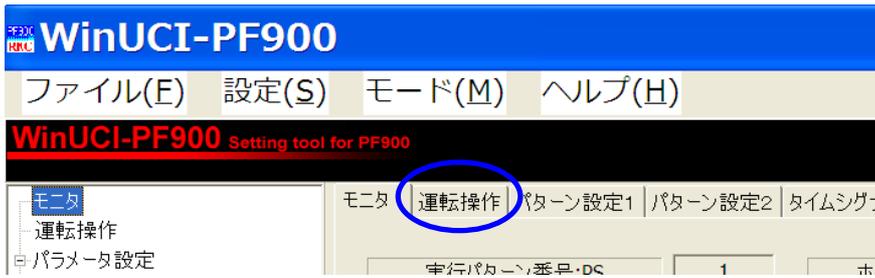
ローダ通信の場合は [ローダポート通信を使用する] をチェックします。

4. 「画面データ受信中」のメッセージが表示され、データの受信が正常に完了すると「モニタ」画面が表示されます。また、「Direct mode」が表示されます。

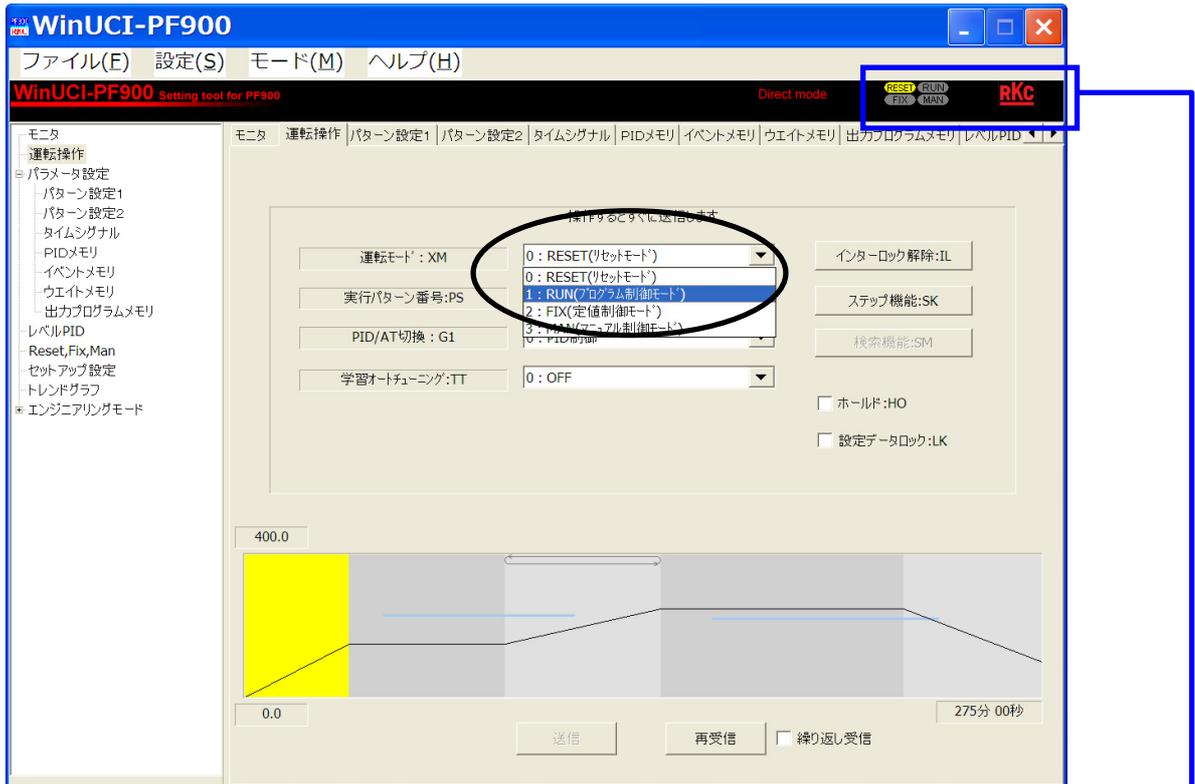
画面には、設定ツールを起動した時の PF900/PF901 のモニタ値が表示されています。



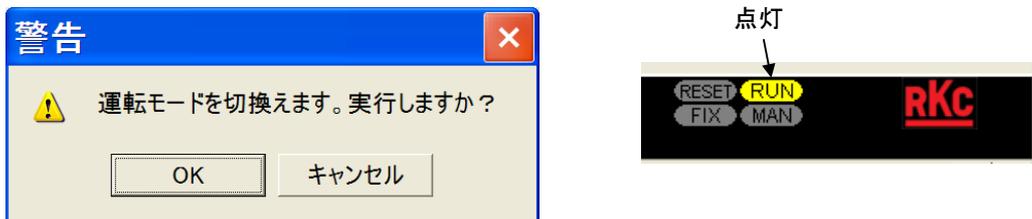
5. [運転操作] タブをクリックします。



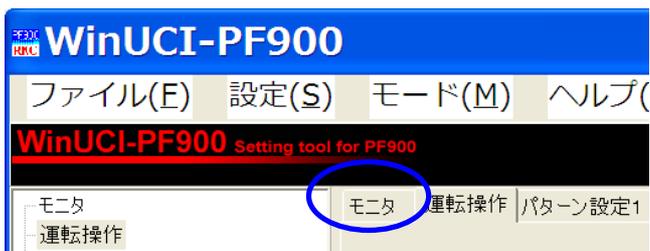
6. 「運転操作」画面が表示されます。「運転モード: XM」に「1: RUN(プログラム制御モード)」を設定します。



7. 「運転モードを切り換えます。実行しますか？」画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。「RUN」が点灯します。



8. [モニタ] タブをクリックして、「モニタ」画面に戻ります。



9. 画面のモニタ値を最新のモニタ値に更新します。



「モニタ」画面は、画面を切り換えた時に PF900/PF901 のモニタ値を受信します。「モニタ」画面を表示したままにしておくと、モニタ値が更新されません。現在のモニタ値を表示させたい場合は、PF900/PF901 から新しいモニタ値を読み出してください。



モニタ関連のパラメータについては、PF900/PF901 取扱説明書 (IMR02L03-J口) を参照してください。

● 最新のモニタ値に更新する場合

[再受信] ボタンをクリックします。最新のモニタ値が表示されます。



● 定期的にモニタ値を自動で更新する場合

[繰り返し受信] チェックボックスをチェックします。定期的 (数秒ごと) にモニタ値が更新されます。



■ ダイレクトモードでデータを設定する

ダイレクトモードでは、通信している PF900/PF901 の設定データを、画面ごとに書き換えることができます。



設定データの変更を行う前にすべての設定データをパソコンに保存してください。
トラブル時に変更前の状態に戻すことができます。

7.1 PF900/PF901 の設定データをパソコンに保存する (P. 28) を参照

例) ロータ通信を使用して、イベントを設定する場合

1. ■ **ダイレクトモードでデータをモニタする (P. 19)** を参照して、「モニタ」画面を表示させます。
2. [イベントメモリ] タブをクリックします。



3. 「イベントメモリ」画面が表示されます。イベント設定値を変更します。

画面には、画面を切り換えた時の PF900/PF901 の設定データが表示されています。

	イベント1[上側]	イベント2[上側]	イベント3[上側]	イベント4[上側]	イベント1[下側]	イベント2[下側]	イベント3[下側]	イベント4[下]
1	50.0	50.0	50.0	50.0	-----	-----	-----	-----
2	50.0	50.0	50.0	50.0	-----	-----	-----	-----
3	50.0	50.0	50.0	50.0	-----	-----	-----	-----
4	50.0	50.0	50.0	50.0	-----	-----	-----	-----
5	50.0	50.0	50.0	50.0	-----	-----	-----	-----
6	50.0	50.0	50.0	50.0	-----	-----	-----	-----
7	50.0	50.0	50.0	50.0	-----	-----	-----	-----
8	50.0	50.0	50.0	50.0	-----	-----	-----	-----

変更したい行をクリックして、下の入力欄で変更してください。

イベント1設定:A1	50.0	-----	-----
イベント2設定:A2	50.0	-----	-----
イベント3設定:A3	50.0	-----	-----
イベント4設定:A4	50.0	-----	-----

送信 再受信



設定関連の画面では、設定ツールを起動した時、画面を切り換えた時やデータを送信した時に、PF900/PF901 からデータが受信されます。ただし、以下の画面では、一度データが受信されると、画面を切り換えただけではデータが更新されません。最新の設定データを表示させたい場合は、[再受信] ボタンをクリックして、データを読み出してください。

「パターン設定 1」画面 「イベントメモリ」画面
「パターン設定 2」画面 「セグメントウェイトメモリ」画面
「タイムジグナル」画面 「出力プログラムパターンメモリ」画面
「PIDメモリ」画面



設定データの更新忘れなどによって、設定ツールと PF900/PF901 の設定データが一致なくなるのを防止するため、ダイレクトモードで設定を行っている間は、PF900/PF901 本体の前面パネルや、別の通信などで、PF900/PF901 の設定データを変更しないでください。



イベント設定のパラメータについては、PF900/PF901 取扱説明書 (IMR02L03-J0) を参照してください。

● データの設定方法

	イベント1[上側]	イベント2[上側]	イベント3[上側]	イベント4[上側]	イベント1[下側]	イベント2[下側]	イベント3[下側]	イベント4[下]
1	50.0	50.0	50.0	50.0	----	----	----	----
2	50.0	50.0	50.0	50.0	----	----	----	----
3	50.0	50.0	50.0	50.0	----	----	----	----
4	50.0	50.0	50.0	50.0	----	----	----	----
5	50.0	50.0	50.0	50.0	----	----	----	----
6	50.0	50.0	50.0	50.0	----	----	----	----
7	50.0	50.0	50.0	50.0	----	----	----	----
8	50.0	50.0	50.0	50.0	----	----	----	----

イベントメモリグループ番号

変更したいイベントメモリグループ番号の行をクリックして選択します。

↓ 選択したイベントメモリグループ番号のイベント設定値が表示されます。

変更したい行をクリックして、下の入力欄で変更してください。

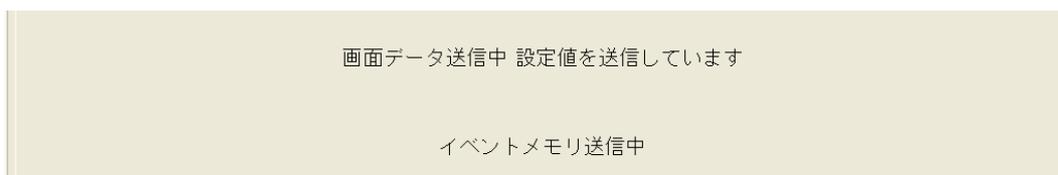
イベント1設定:A1	50.0	----	----
イベント2設定:A2	50.0	----	----
イベント3設定:A3	50.0	----	----
イベント4設定:A4	50.0	----	----

↓ 入力欄をクリックして、イベント設定値を設定します。

4. 設定が終了したら、[送信] ボタンをクリックします。「画面データ送信中」メッセージが表示されます。

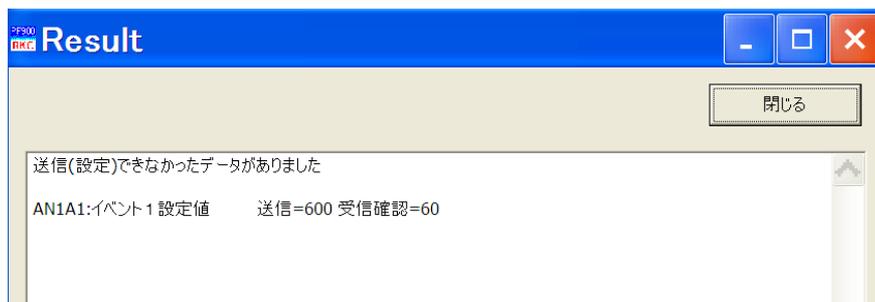


「画面データ送信中」メッセージ



5. データの送信が正常に完了すると、PF900/PF901 にデータが書き込まれます。

📖 送信エラーがあった場合は、送信 (設定) でできなかったデータ項目が表示されます。



📖 データによっては、入力欄に入力するだけで、データが送信される場合があります。このような場合は、[送信] ボタンでデータを送信する必要はありません。

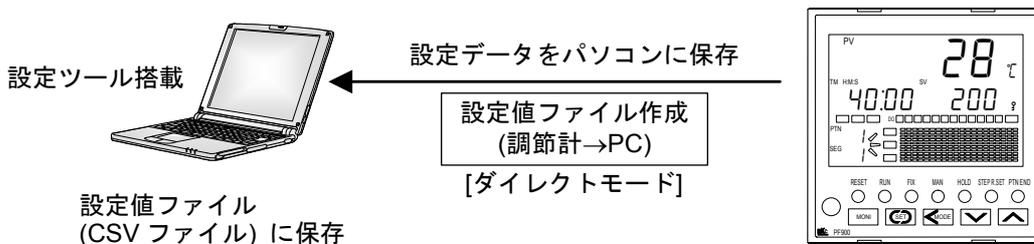
7. 設定データの保存と一括設定 (使用例)

設定ツールは、PF900/PF901 の設定データをパソコンに保存したり、パソコンに保存されている設定値ファイル (CSV ファイル) を PF900/PF901 に一括設定したりできます。また、設定値ファイル (CSV ファイル) の設定データと、PF900/PF901 の設定データが一致するかを照合できます。

本章は以下の使用例について説明します。

使用例 1 PF900/PF901 の設定データをパソコンに保存する

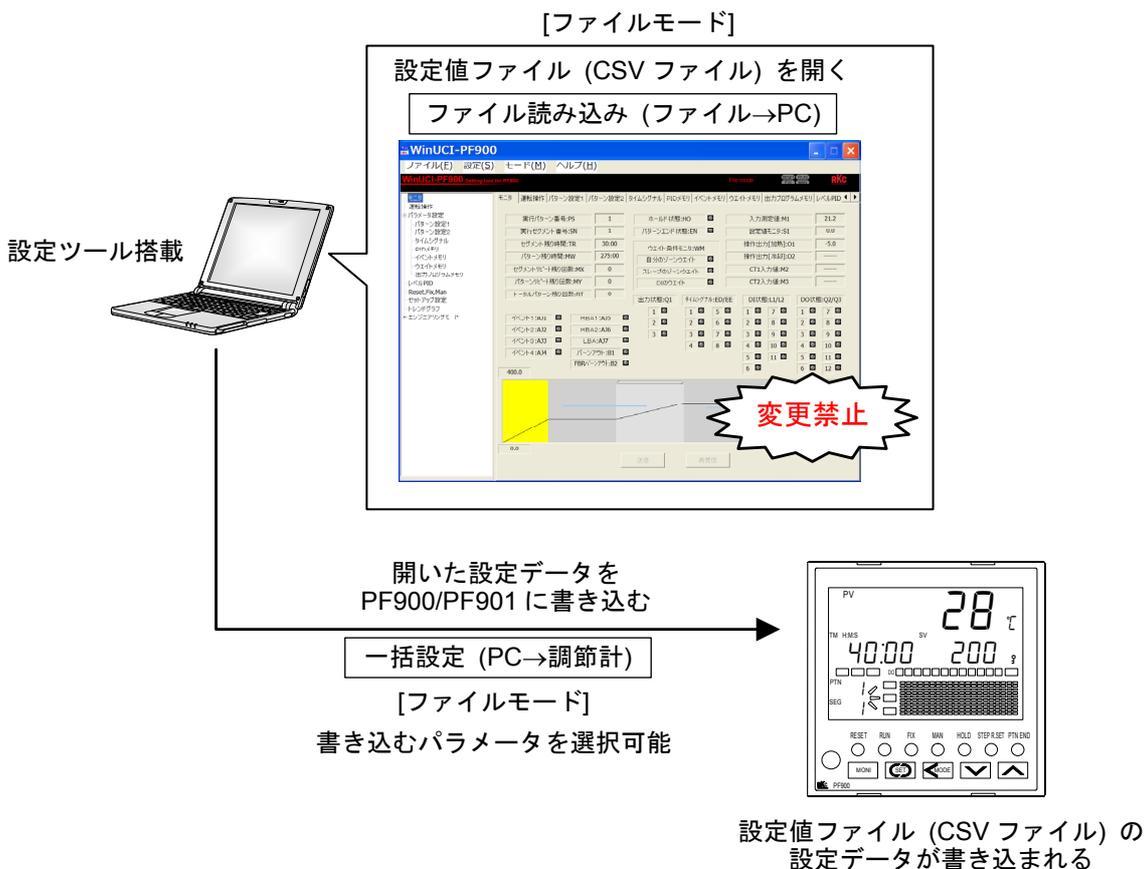
📖 操作手順は 7.1 項 (P. 28) を参照



使用例 2 設定値ファイル (CSV ファイル) の設定データを PF900/PF901 に一括して書き込む

パソコンに保存されている設定値ファイル (CSV ファイル) を、データの変更を行わず、そのまま PF900/PF901 に一括して書き込みます。設定データのリカバリーなどに使用します。

📖 操作手順は 7.2 項 (P. 30) を参照

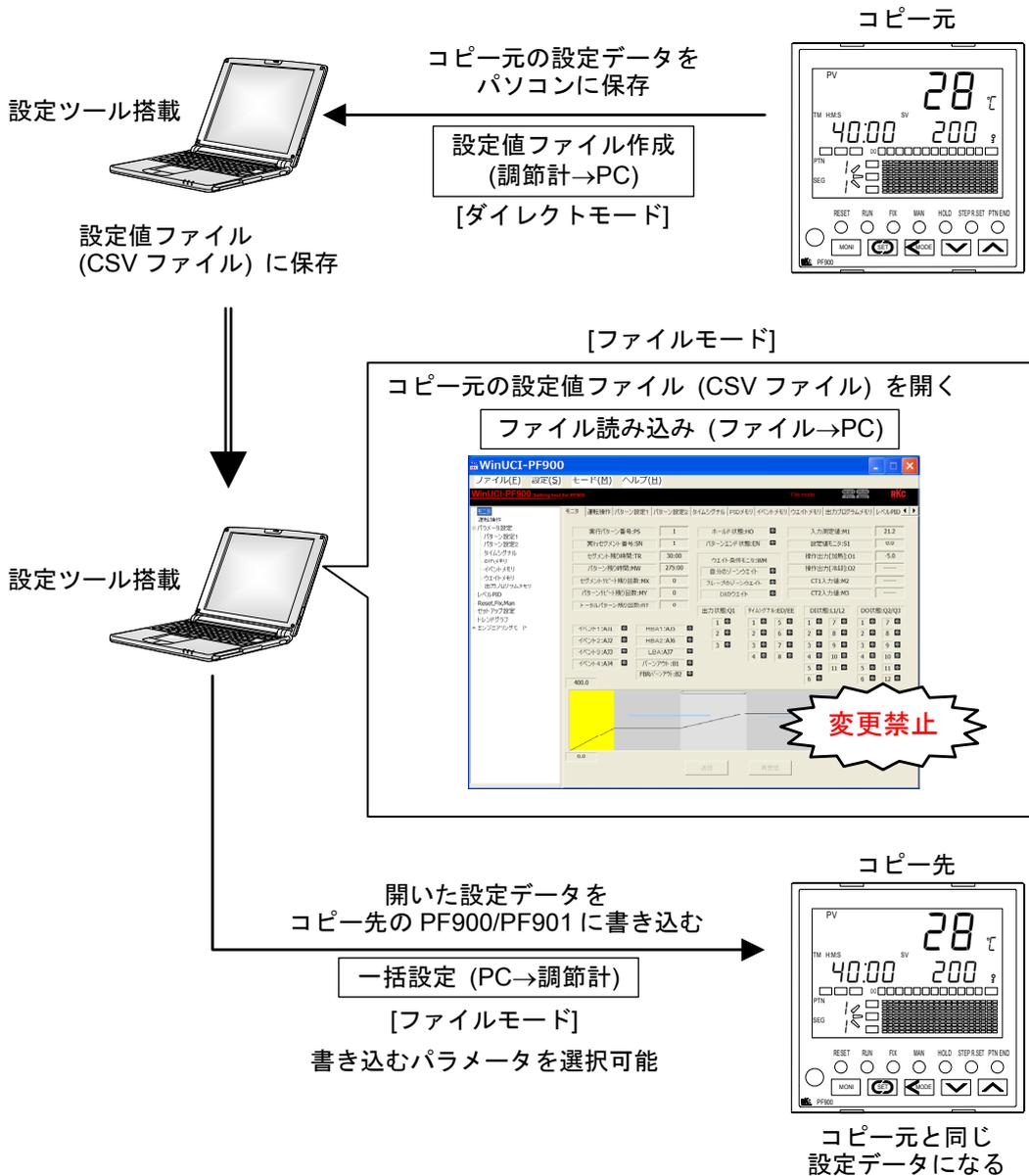


ファイルモードでデータを変更しないでください。ファイルモードで、各パラメータの値を変更しても、変更した内容を設定値ファイル (CSV ファイル) として保存できません。また、ファイルモードで、各パラメータの値を変更してから、一括設定を行うと、エラーチェックをしないで、PF900/PF901 にデータを書き込むため、誤動作の原因になります。

使用例 3 PF900/PF901 の設定データを他の PF900/PF901 にコピーする

コピー元の PF900/PF901 の設定データをパソコンに保存し、保存した設定値ファイル (CSV ファイル) を、データの変更を行わずそのままコピー先の PF900/PF901 に一括して書き込みます。

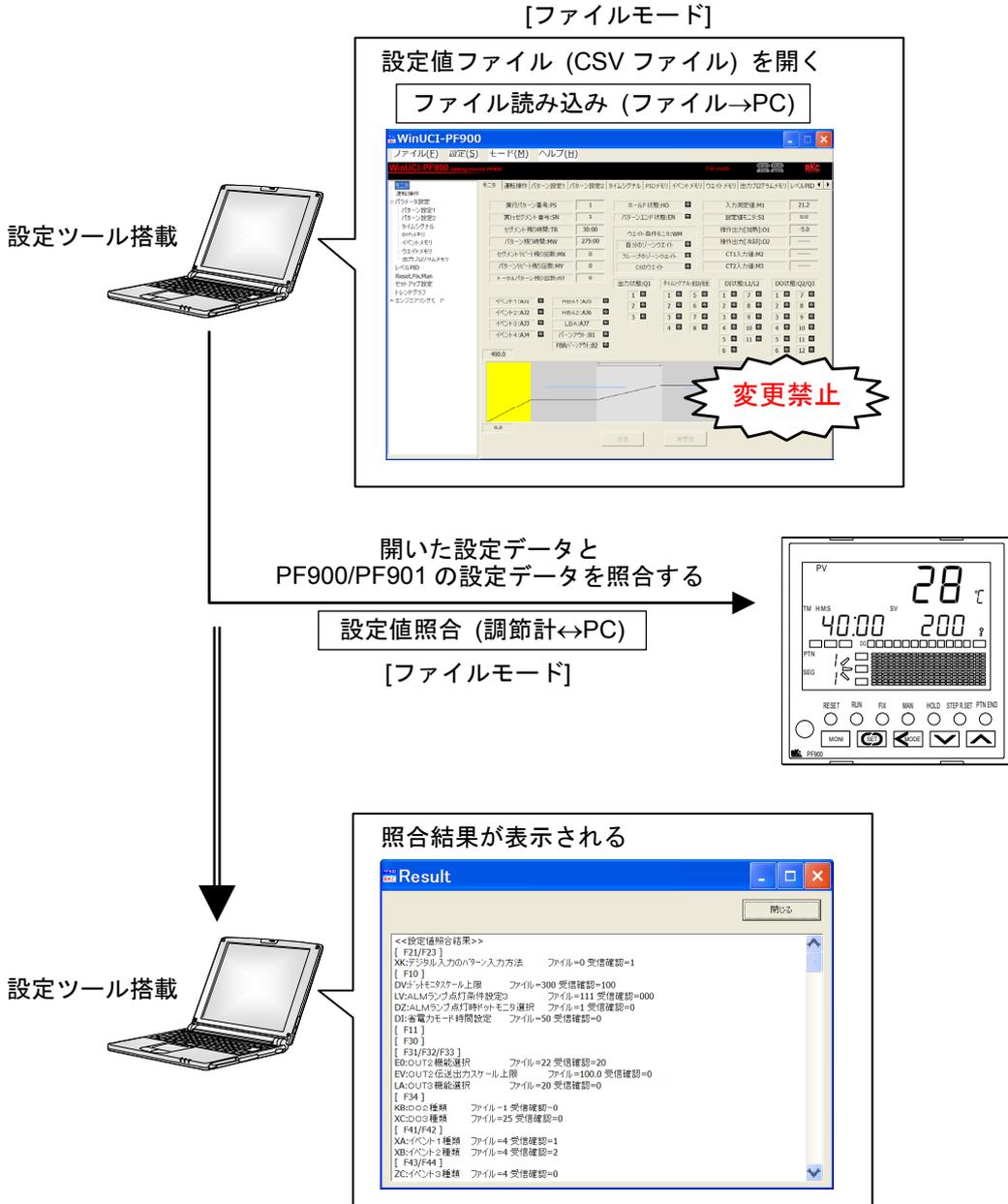
 操作手順は 7.3 項 (P. 34) を参照



ファイルモードでデータを変更しないでください。ファイルモードで、各パラメータの値を変更しても、変更した内容を設定値ファイル (CSV ファイル) として保存できません。また、ファイルモードで、各パラメータの値を変更してから、一括設定を行うと、エラーチェックをしないで、PF900/PF901 にデータを書き込むため、誤動作の原因になります。

使用例 4 設定値ファイル (CSV ファイル) と PF900/PF901 の設定データが一致するかを調べる

👉 操作手順は 7.4 項 (P.39) を参照

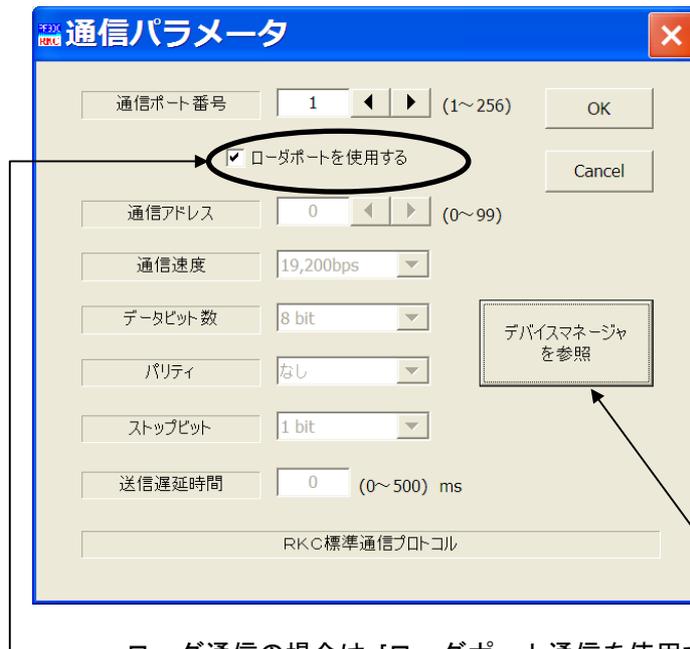


7.1 PF900/PF901 の設定データをパソコンに保存する

1. PF900/PF901 とパソコンを接続します。
2. 設定ツールを起動して、[ダイレクトモード] ボタンをクリックします。



3. 「通信パラメータ指定」画面が表示されます。通信パラメータを PF900/PF901 と同じ値に設定してから、[OK] ボタンをクリックします。



通信ポート番号: COM1~COM256

● 通信ポートの確認方法 (P. 11)

通信アドレス (デバイスアドレス):

0~99 (最大接続台数: 31 台)

通信速度:

2400 bps
4800 bps
9600 bps
19200 bps
38400 bps
57600 bps

データビット数: 7-bit または 8-bit

パリティビット: なし、奇数、偶数

ストップビット: 1-bit、1.5-bit、2-bit

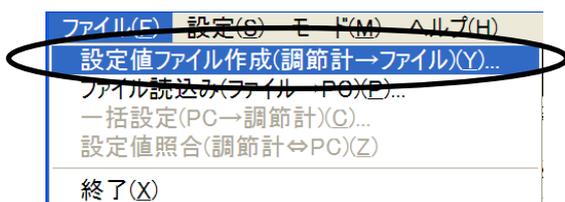
送信遅延時間: 0~500 ms

Windows の「デバイスマネージャ」を開いて、通信ポートが確認できます。

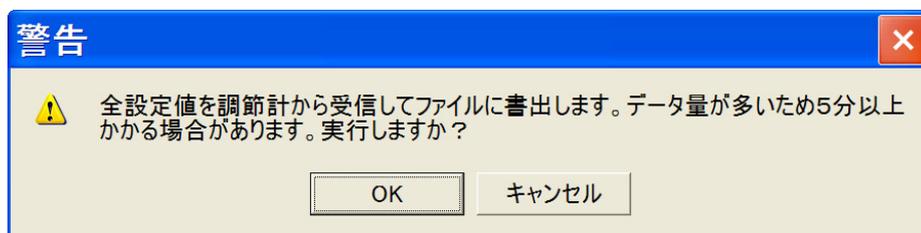
ローダ通信の場合は [ローダポート通信を使用する] をチェックします。

4. 「画面データ受信中」のメッセージが表示され、データの受信が正常に完了すると「モニタ」画面が表示されます。

5. 「モニタ」画面でメニューの「ファイル」→「設定値ファイル作成(調節計→ファイル)」をクリックします。



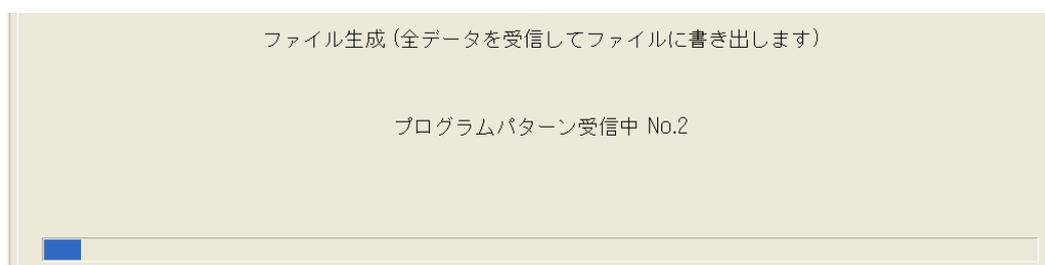
6. 警告画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



7. 「名前をつけて保存」画面が表示されます。任意のフォルダにファイル名を付けて [保存 (S)] ボタンをクリックします。



8. 「ファイル作成」メッセージが表示されます。



-  設定値ファイル作成を途中でやめたい場合は、[Cancel] ボタンをクリックします。
-  設定値ファイル作成には、PF900/PF901 の出荷時の状態で 5 分以上かかる場合があります。

9. データの受信が正常に完了すると、PF900/PF901 の設定データが、設定値ファイル (CSV ファイル) に保存されます。

7.2 設定値ファイル (CSV ファイル) の設定データを PF900/FP901 に一括して書き込む

パソコンに保存されている設定値ファイル (CSV ファイル) を、データの変更を行わず、そのまま PF900/FP901 に一括して書き込みます。設定データのリカバリーなどに使用します。

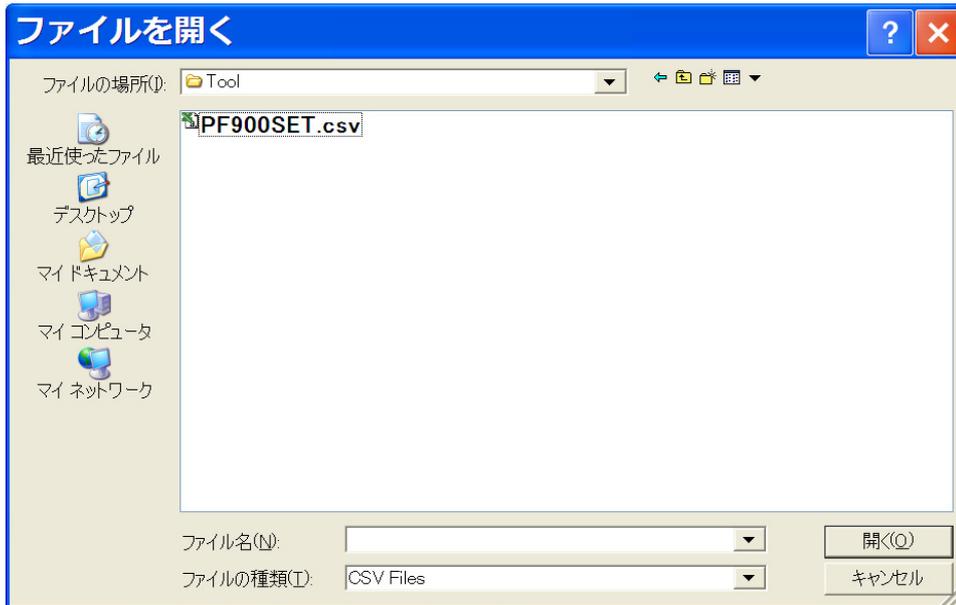
-  ファイルモードでデータを変更しないでください。ファイルモードで、各パラメータの値を変更しても、変更した内容を設定値ファイル (CSV ファイル) として保存できません。また、ファイルモードで、各パラメータの値を変更してから、一括設定を行うと、エラーチェックをしないで、PF900/FP901 にデータを書き込むため、誤動作の原因になります。
-  設定データの一括設定は、設定値ファイル (CSV ファイル) を作成した PF900/FP901 と一括で書き込む PF900/FP901 が同じ仕様の場合に行えます。

手順 1 設定値ファイル (CSV ファイル) を設定ツールに読み込む

- PF900/FP901 とパソコンを接続します。
- 設定ツールを起動して、[ファイルモード] ボタンをクリックします。
 -  設定ツールを実行中の場合は、メニューの「ファイル」→「ファイル読み込み(ファイル→PC)」をクリックします。



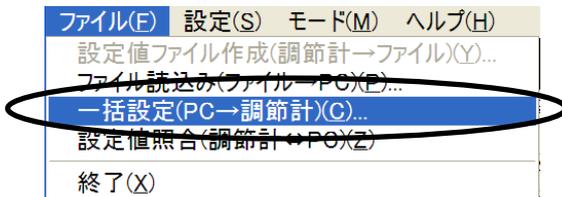
3. 「ファイルを開く」画面が表示されます。設定値ファイル (CSV ファイル) を指定して [開く (O)] ボタンをクリックします。



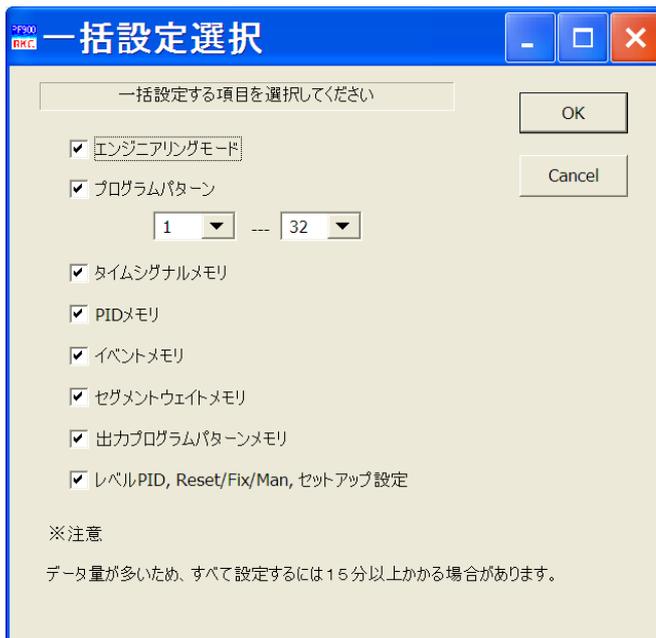
4. 設定値ファイル (CSV ファイル) の設定データが、設定ツールの画面に表示されます。

手順 2 設定ツールの設定データを、PF900/FP901 に一括して書き込む

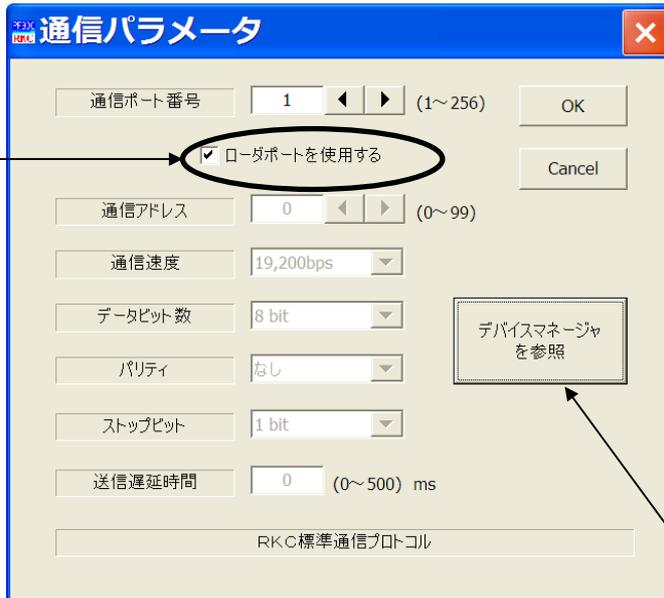
1. 「モニタ」画面でメニューの「ファイル」→「一括設定(PC→調節計)」をクリックします。



2. 「一括設定選択」画面が表示されます。一括設定する項目を選択してから、[OK] ボタンをクリックします。



3. 「通信パラメータ指定」画面が表示されます。通信パラメータを PF900/PF901 と同じ値に設定してから、[OK] ボタンをクリックします。



通信ポート番号: COM1~COM256

● 通信ポートの確認方法 (P. 11)

通信アドレス (デバイスアドレス):

0~99 (最大接続台数: 31 台)

通信速度: 2400 bps

4800 bps

9600 bps

19200 bps

38400 bps

57600 bps

データビット数: 7-bit または 8-bit

パリティビット: なし、奇数、偶数

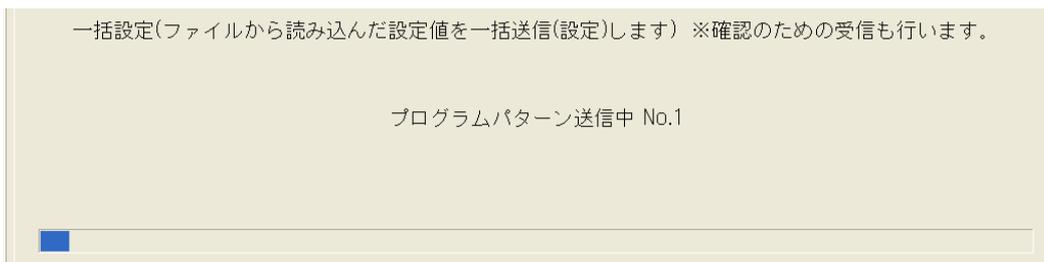
ストップビット: 1-bit、1.5-bit、2-bit

送信遅延時間: 0~500 ms

Windows の「デバイスマネージャ」を開いて、通信ポートが確認できます。

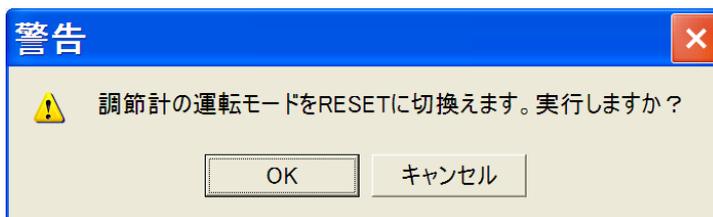
ローダ通信の場合は [ローダポート通信を使用する] をチェックします。

4. 「一括設定」メッセージが表示されます。



一括設定を途中でやめたい場合は、[Cancel] ボタンをクリックします。

PF900/PF901 が FIX モードまたは RUN モードの場合は、警告画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



すべてのデータを一括設定するには 10 分以上かかる場合があります。

5. データの送信が正常に完了すると、PF900/PF901 に設定データが一括して書き込まれ、一括設定結果が表示されます。



7.3 PF900/PF901 の設定データを他の PF900/PF901 にコピーする

 設定データのコピーは、コピー元とコピー先の PF900/PF901 が同じ仕様の場合に行えます。

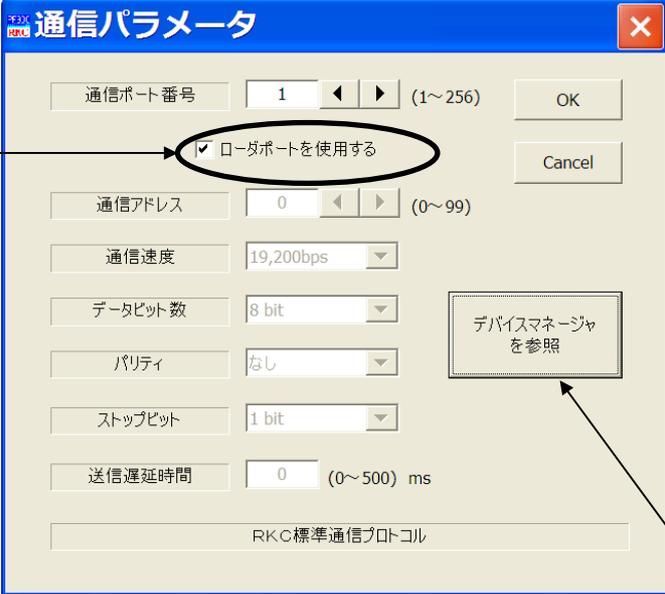
例) ローダ通信を使用して、PF900/PF901 の設定データを他の PF900/PF901 にコピーする場合
コピー元の PF900/PF901 の設定データをパソコンに保存し、保存した設定値ファイル (CSV ファイル) を、
データの変更を行わずそのままコピー先の PF900/PF901 に一括して書き込みます。

手順 1 コピー元の PF900/PF901 の設定データを設定値ファイル (CSV ファイル) に保存する

1. コピー元の PF900/PF901 とパソコンを接続します。
2. 設定ツールを起動して、[ダイレクトモード] をクリックします。



3. 「通信パラメータ指定」画面が表示されます。通信パラメータを PF900/PF901 と同じ値に設定してから、[OK] ボタンをクリックします。



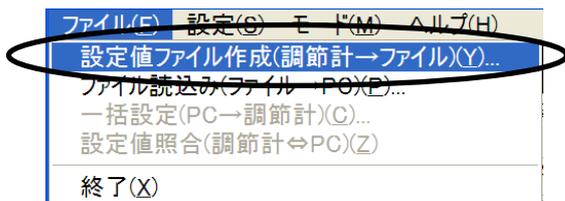
通信ポート番号: COM1~COM256
● 通信ポートの確認方法 (P. 11)
通信アドレス (デバイスアドレス): 0~99 (最大接続台数: 31 台)
通信速度: 2400 bps, 4800 bps, 9600 bps, 19200 bps, 38400 bps, 57600 bps
データビット数: 7-bit または 8-bit
パリティビット: なし、奇数、偶数
ストップビット: 1-bit、1.5-bit、2-bit
送信遅延時間: 0~500 ms

Windows の「デバイスマネージャ」を開いて、通信ポートが確認できます。

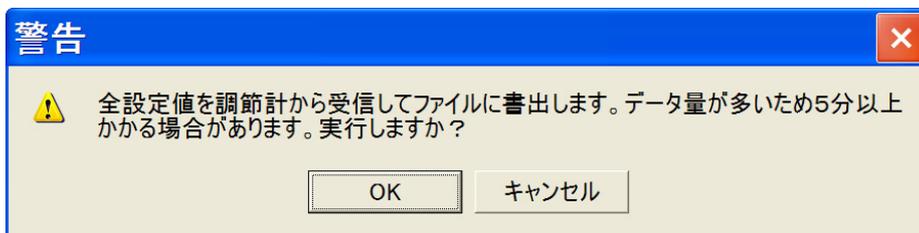
ローダ通信の場合は [ローダポート通信を使用する] をチェックします。

4. 「画面データ受信」のメッセージが表示され、データの受信が正常に完了すると「モニタ」画面が表示されます。

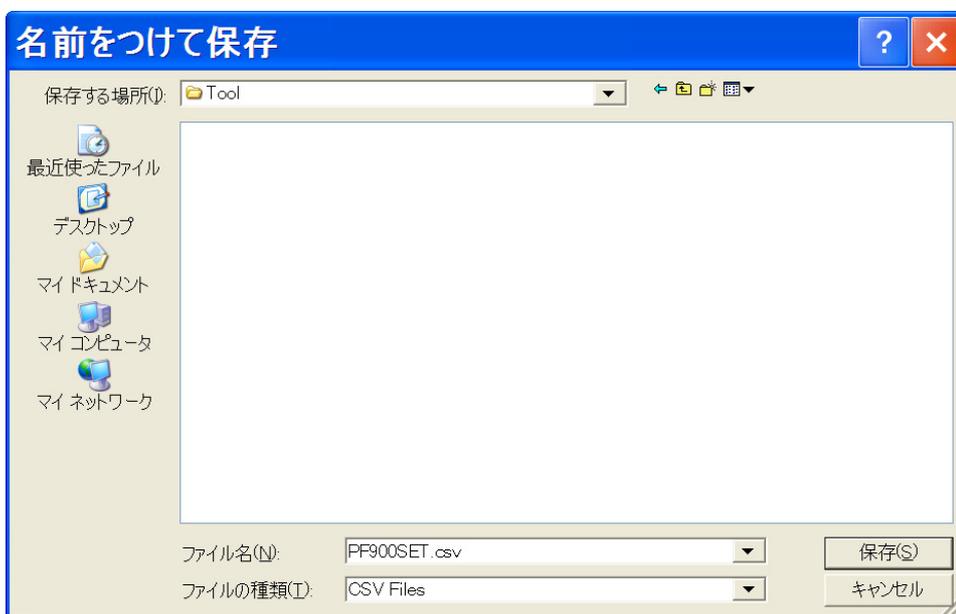
5. 「モニタ画面」でメニューの「ファイル」→「設定値ファイル作成(調節計→ファイル)」をクリックします。



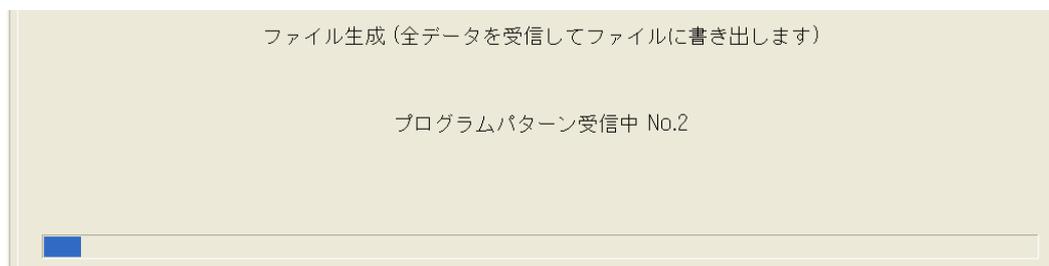
6. 警告画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



7. 「名前をつけて保存」画面が表示されます。任意のフォルダにファイル名を付けて [保存 (S)] ボタンをクリックします。



8. 「ファイル作成」メッセージが表示されます。

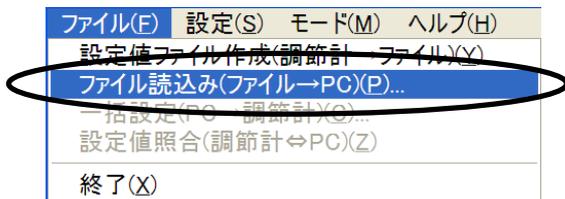


-  設定値ファイル作成を途中でやめたい場合は、[Cancel] ボタンをクリックします。
-  設定値ファイル作成には、PF900/PF901 の出荷時の状態で 5 分以上かかる場合があります。

9. データの受信が正常に完了すると、PF900/PF901 の設定データが、設定値ファイル (CSV ファイル) に保存されます。

手順2 コピー元の設定値ファイル (CSV ファイル) を設定ツールに読み込む

1. コピー先の PF900/PF901 とパソコンを接続 (通信ケーブル差し換え) します。
2. 「モニタ」画面でメニューの「ファイル」→「ファイル読み込み(ファイル→PC)」をクリックします。



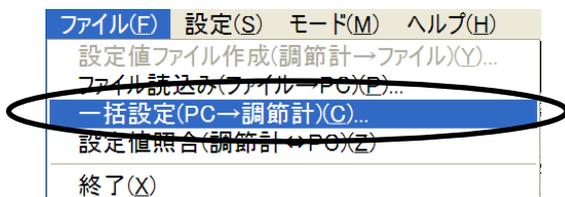
3. 「ファイルを開く」画面が表示されます。コピー元の設定値ファイル (CSV ファイル) を指定して [開く (O)] ボタンをクリックします。



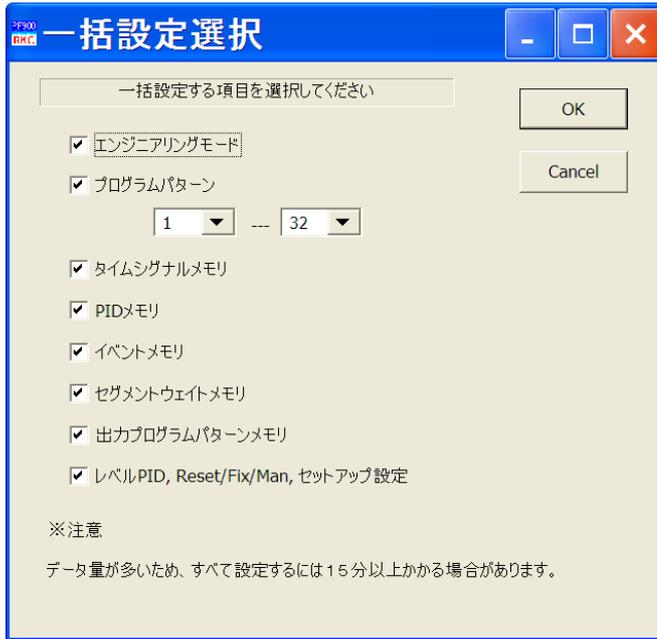
4. コピー元の設定値ファイル (CSV ファイル) の設定データが、設定ツールの画面に表示されます。

手順3 設定ツールの設定データを、コピー先の PF900/FP901 に一括して書き込む

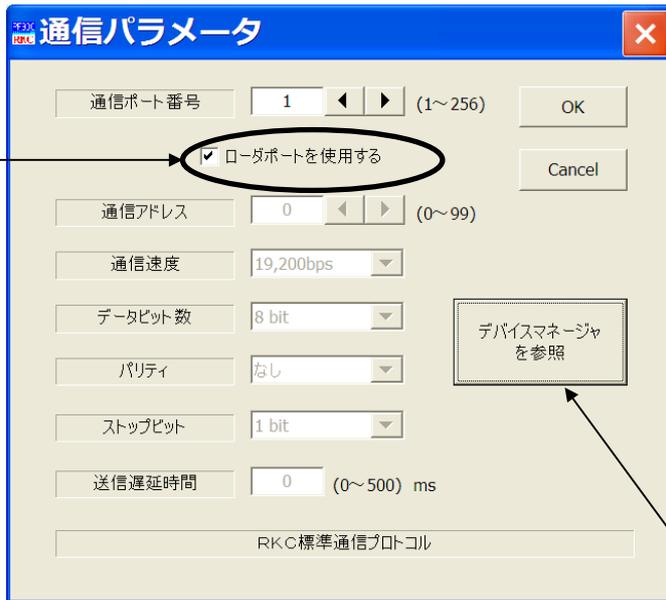
1. 「モニタ」画面でメニューの「ファイル」→「一括設定(PC→調節計)」をクリックします。



2. 「一括設定選択」画面が表示されます。一括設定する項目を選択してから、[OK] ボタンをクリックします。



3. 「通信パラメータ指定」画面が表示されます。通信パラメータを PF900/PF901 と同じ値に設定してから、[OK] ボタンをクリックします。



通信ポート番号: COM1~COM256

● 通信ポートの確認方法 (P. 11)

通信アドレス (デバイスアドレス):

0~99 (最大接続台数: 31 台)

通信速度:

2400 bps
4800 bps
9600 bps
19200 bps
38400 bps
57600 bps

データビット数: 7-bit または 8-bit

パリティビット: なし、奇数、偶数

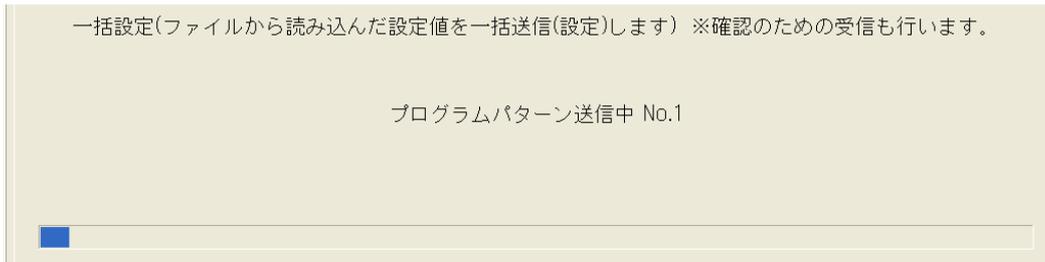
ストップビット: 1-bit、1.5-bit、2-bit

送信遅延時間: 0~500 ms

Windows の「デバイスマネージャ」を開いて、通信ポートが確認できます。

ローダ通信の場合は [ローダポート通信を使用する] をチェックします。

4. 「一括設定」メッセージが表示されます。



一括設定を途中でやめたい場合は、[Cancel] ボタンをクリックします。



PF900/PF901 が FIX モードまたは RUN モードの場合は、警告画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



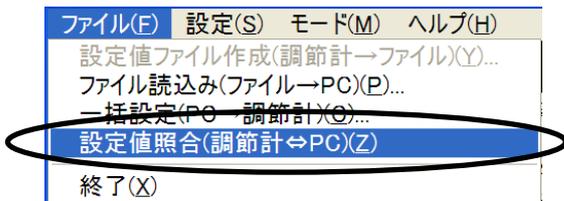
すべてのデータを一括設定するには 10 分以上かかる場合があります。

5. データの送信が正常に完了すると、コピー先の PF900/PF901 に設定データが一括して書き込まれ、一括設定結果が表示されます。

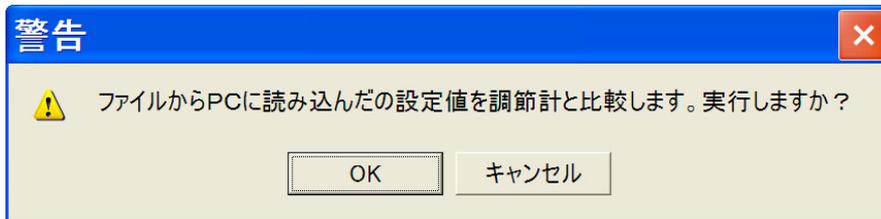


7.4 設定値ファイル (CSV ファイル)と PF900/PF901 の設定データが一致するかを調べる

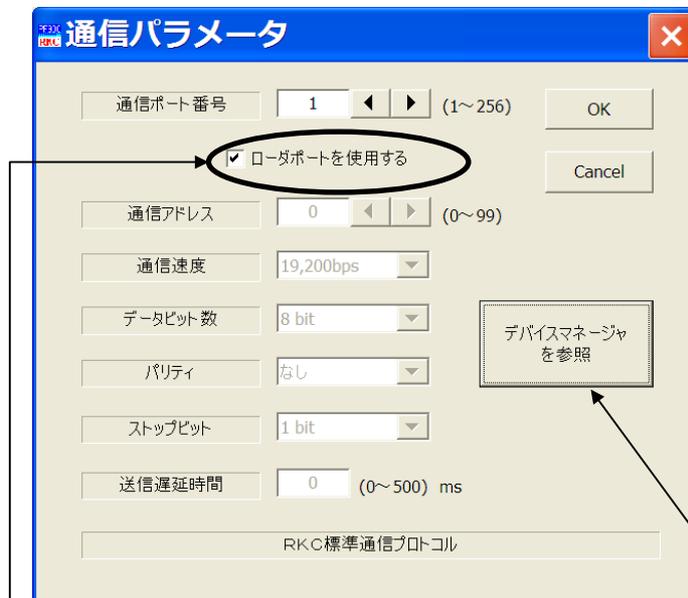
1. PF900/PF901 とパソコンを接続します。
2. 7.2 項の手順 1 設定値ファイル (CSV ファイル) を設定ツールに読み込む (P. 30) を参照して、設定値ファイル (CSV ファイル) を設定ツールに読み込みます。設定値ファイル (CSV ファイル) の設定データが、設定ツールの画面に表示されます。
3. 「モニタ」画面でメニューの「ファイル」→「設定値照合(調節計⇔PC)」をクリックします。



4. 「ファイルから PC に読み込んだ設定値を調節計と比較します。実行しますか？」画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



5. 「通信パラメータ指定」画面が表示されます。通信パラメータを PF900/PF901 と同じ値に設定してから、[OK] ボタンをクリックします。



通信ポート番号: COM1~COM256

● 通信ポートの確認方法 (P. 11)

通信アドレス (デバイスアドレス):

0~99 (最大接続台数: 31 台)

通信速度:

2400 bps
4800 bps
9600 bps
19200 bps
38400 bps
57600 bps

データビット数: 7-bit または 8-bit

パリティビット: なし、奇数、偶数

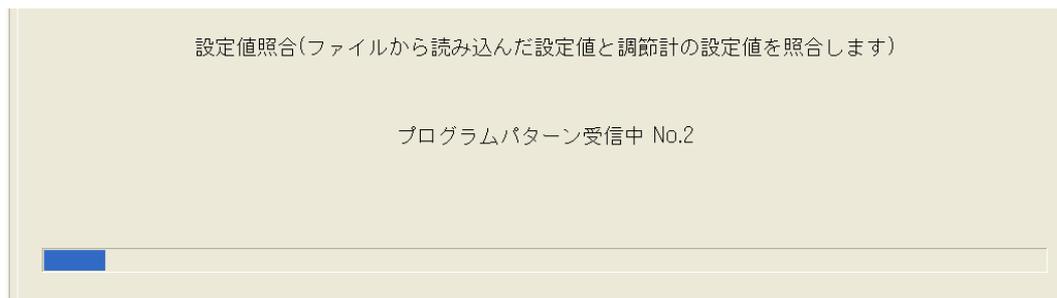
ストップビット: 1-bit、1.5-bit、2-bit

送信遅延時間: 0~500 ms

Windows の「デバイスマネージャ」を開いて、通信ポートが確認できます。

ローダ通信の場合は [ローダポート通信を使用する] をチェックします。

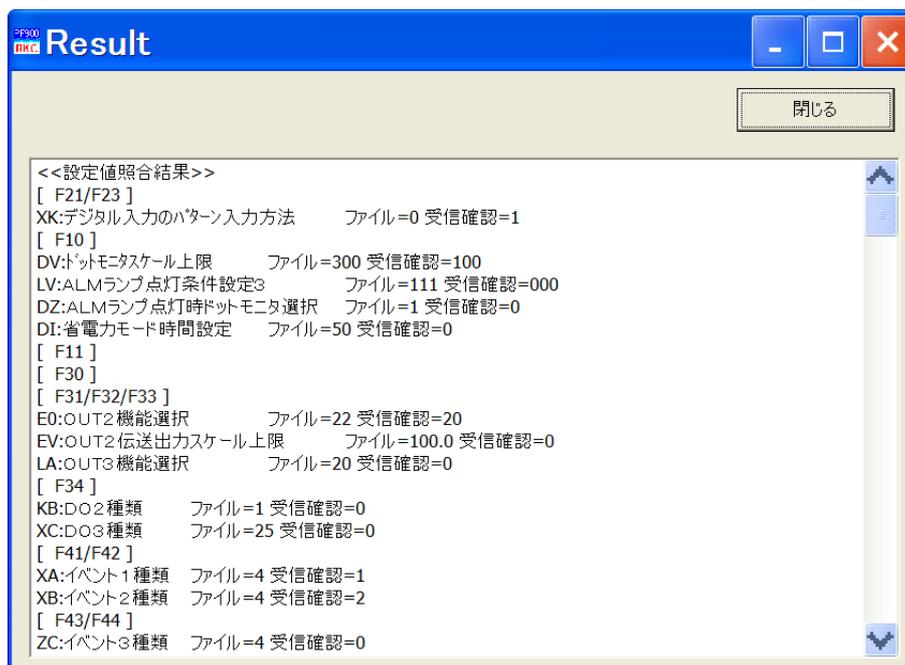
6. 「設定値照合」メッセージが表示されます。



 設定値の照合を途中でやめたい場合は、[Cancel] ボタンをクリックします。

 設定値の照合には 5 分以上かかる場合があります。

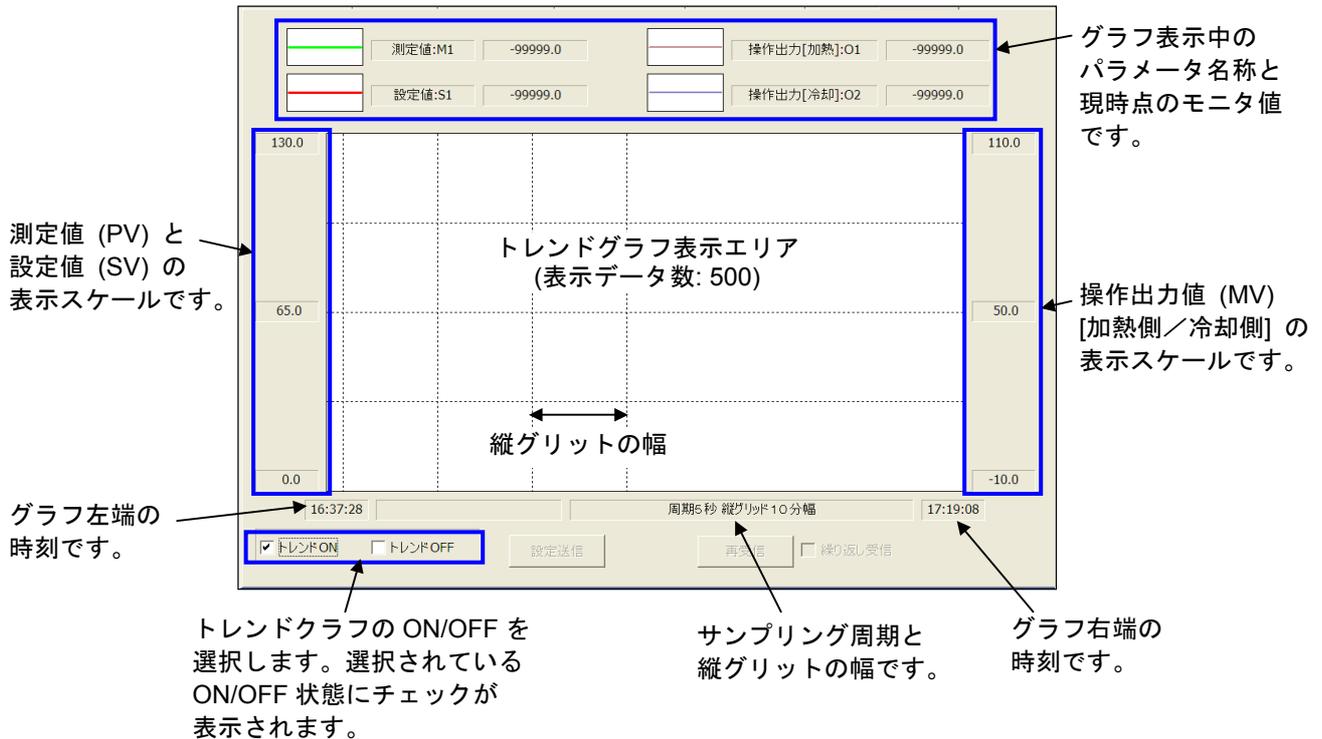
7. データの照合が完了すると、照合結果が表示されます。



 不一致のデータがあった場合は、該当するパラメータの設定値を確認してください。

8. トレンドグラフの表示 (使用例)

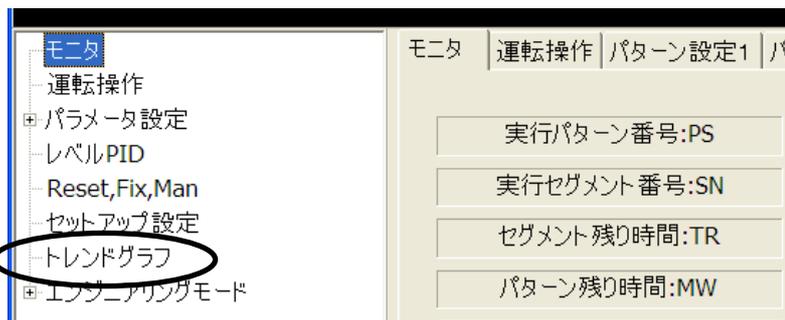
設定ツールは、測定値 (PV)、設定値 (SV)、操作出力値 (MV) [加熱側/冷却側] をトレンドグラフにして表示することができます。また、トレンドデータはデータ記録ファイル (CSV ファイル) として、パソコンに保存できます。



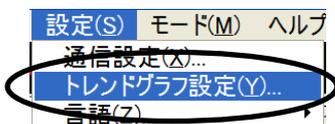
サンプリング周期と表示スケール (左/右) は、「トレンドグラフ設定」画面 (P. 42) で設定します。「トレンドグラフ設定」画面は、メニューの「設定」→「トレンドグラフ設定」をクリックすると、表示されます。

■ トレンドグラフを表示させる

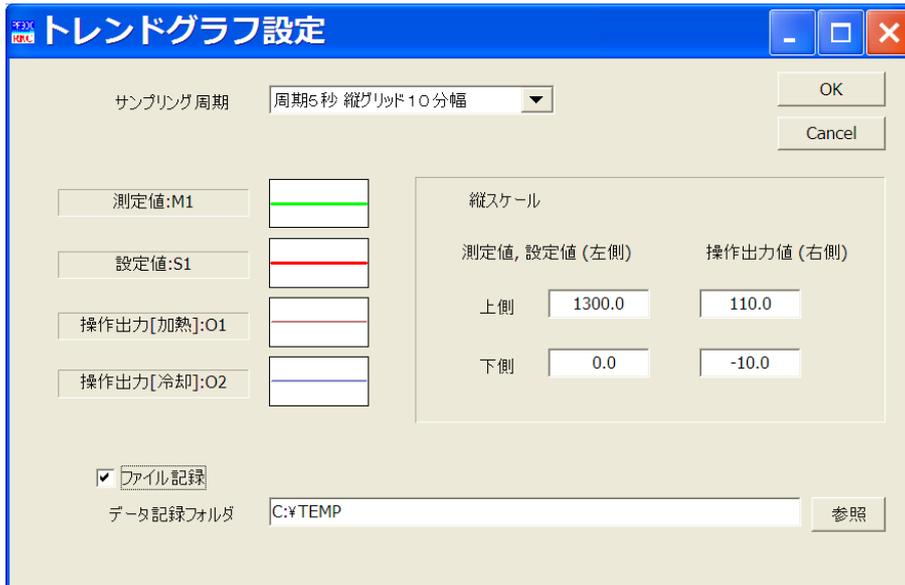
1. ■ **ダイレクトモードでデータをモニタする (P. 19)** を参照して、「モニタ」画面を表示させます。
2. 画面切り換えウィンドウの [トレンドグラフ] をクリックします。



3. 「トレンドグラフ」画面が表示されます。
4. 「トレンドグラフ」画面でメニューの「設定」→「トレンドグラフ設定」をクリックします。



5. 「トレンドグラフ設定」画面が表示されます。トレンドグラフのパラメータを設定します。



サンプリング周期: トレンドグラフのサンプリング周期を設定します。

設定範囲: 周期 1 秒 縦グリッド 2 分幅	周期 10 秒 縦グリッド 15 分幅
周期 2 秒 縦グリッド 4 分幅	周期 15 秒 縦グリッド 30 分幅
周期 3 秒 縦グリッド 5 分幅	周期 20 秒 縦グリッド 30 分幅
周期 4 秒 縦グリッド 6 分幅	周期 30 秒 縦グリッド 60 分幅
周期 5 秒 縦グリッド 10 分幅	周期 60 秒 縦グリッド 120 分幅

測定値 (M1)、設定値 (S1)、操作出力[加熱] (O1)、操作出力[冷却] (O2):

トレンドグラフの色が表示されます。



トレンドグラフとして表示される、パラメータとグラフの色は固定です。
他のパラメータを、トレンドグラフとして表示することはできません。

縦スケール: トレンドグラフの表示スケールを設定します。

ファイル記録、データ記録フォルダ:

データを記録 (ロギング) するかどうかを選択します。

「データ記録フォルダ」に任意のフォルダを指定して、[ファイル記録] チェックボックスをチェックすると、指定したフォルダにトレンドデータを記録できます。



トレンドグラフを ON にすると、データ記録ファイル (CSV ファイル) を作成して記録を開始します。トレンド OFF にすると記録を終了します。

データ記録ファイル (CSV ファイル) のファイル名は、トレンド ON した日付と時刻で作成されます。

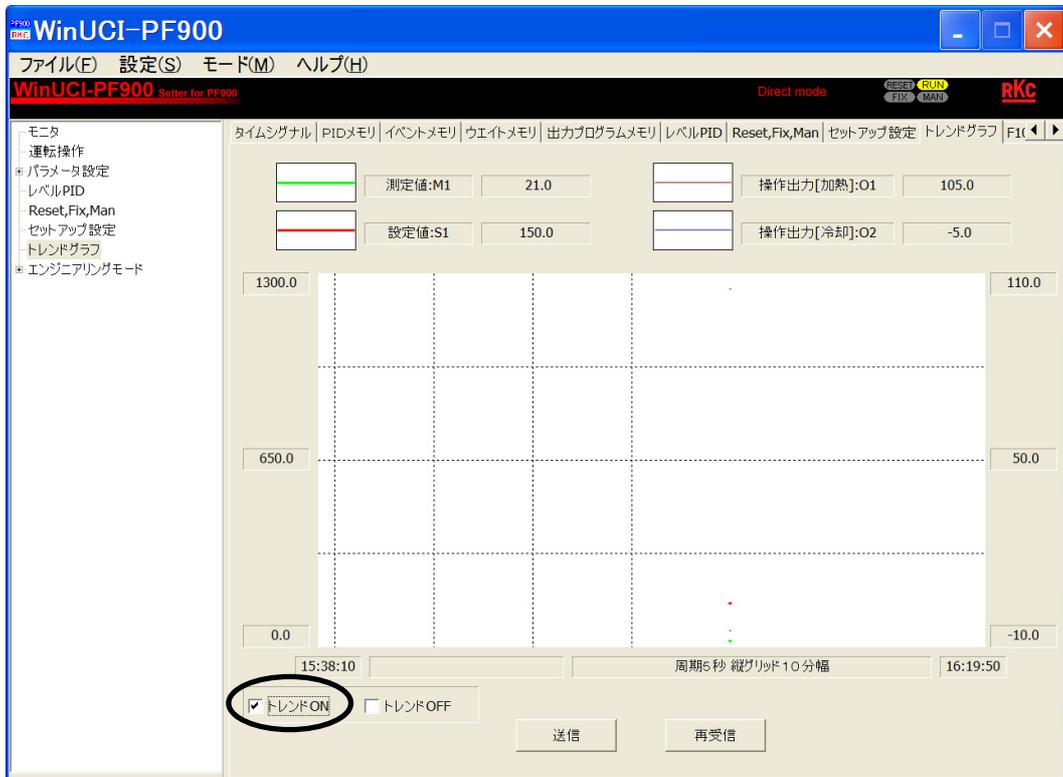
FP900_20100514_164345.csv	2010年05月14日16時43分45秒
↑ ↑	にデータ記録開始 (トレンド ON)
日付 時刻	

6. [OK] ボタンをクリックします。「トレンドグラフ」画面に、設定した内容に従ったトレンドグラフが表示されます。

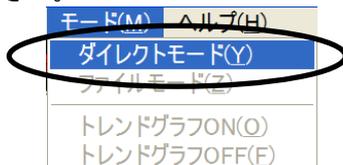
7. [トレンド ON] チェックボックスをチェックすると、トレンドグラフの表示を開始します。
 また、「トレンドグラフ設定」画面の [ファイル記録] チェックボックスをチェックしている場合は、データ記録ファイル (CSV ファイル) を作成して記録を開始します。



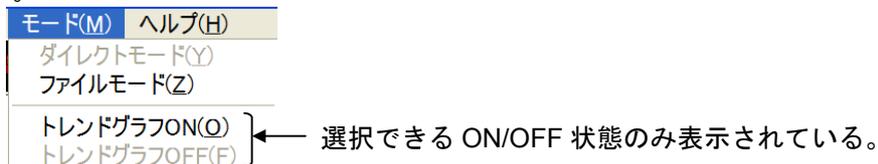
トレンドグラフを終了する場合は、「トレンド OFF」チェックボックスをチェックします。



-  [トレンド ON/OFF] チェックボックスが表示されずにチェックできない場合は、ファイルモードになっています。トレンドグラフの ON/OFF はダイレクトモードの場合のみできます。メニューの「モード」→「ダイレクトモード」をクリックして、ダイレクトモードに切り換えてください。

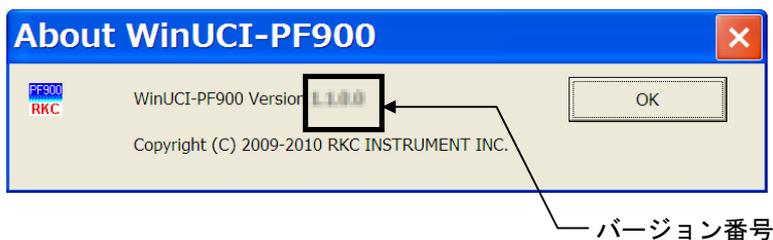


-  「モニタ」画面など「トレンドグラフ」画面以外の画面で、トレンドグラフの ON/OFF を行う場合は、メニューの「モード」→「トレンドグラフ ON(O)」または「トレンドグラフ OFF(F)」をクリックします。



9. バージョン情報の表示

メニューの「ヘルプ」→「バージョン情報」をクリックします。「About WinUCI-PF900」画面が表示されます。



10. 設定ツールの終了

メニューの「ファイル」→「終了」をクリックします。

- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。